



M11X
2.4GHz Digital High Response System

取扱説明書

このたびは、**M11X** をお買い上げいただき、ありがとうございます。

この取扱説明書は、**M11X** を安全に正しくご使用いただくために、取り扱いに関する手順、要領および注意事項などについて説明しています。本機の性能を十分發揮させるために、ご使用になる前には本書を良くお読みになり、正しくお取り扱いいただくようお願い申し上げます。

なお、本書はお読みになった後も、いつでも読めるように大切に保管してください。

SANWA

プロポの安全な取扱いと注意事項

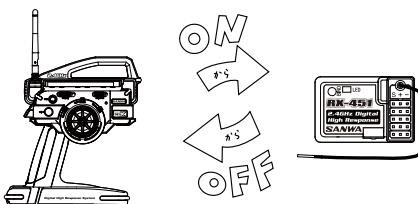
お買い上げいただいたプロポを正しく安全にご使用いただくために、本書をよくお読みいただき、注意事項を必ず守ってください。
使用方法を誤ったり、安全に対する注意をおこなつたりすると、他人に迷惑をかけたり、自分自身をきずつけたりすることになります。
■安全確保のため、この各項目を必ずお守りください。



警告

搭載時及び操作上の注意

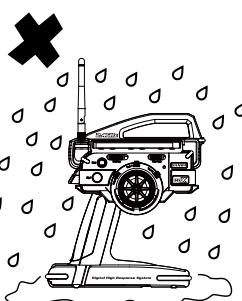
- プロポの電源スイッチをONにするときは必ず①送信機→②受信機の順でおこなってください。またOFFにするときは①受信機→②送信機の順番でおこなってください。
- ☆スイッチ操作を誤って逆にすると突然エンジンやモーターが高回転になり、大変危険です。



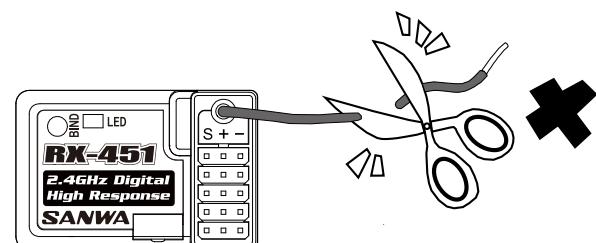
- 車体(船体)には必ずノイズ対策をおこなってください。
☆金属同士がこすれると電気的ノイズ(雑音)が発生し正常な動作をしない原因となりますのでビス、ナットのゆるみのないことを確認してください。
- ☆ガソリンエンジン、モーターなどからもノイズが発生することがあります。抵抗入りプラグや、ノイズキラーコンデンサー等のノイズ対策をおこなってください。
- 走行(航)前に必ずプロポの動作確認(通達テスト)をおこなってください。

異常な動きをしたり、動かない場合は走行(航)させないでください。
机上でのテストが正常であっても走行(航)中の電波の到達距離は、受信機の搭載方法、アンテナの張り方、送信機のアンテナの向き、地形等によって変わりますので、初走行(航)の際は特にご注意ください。

- 雨の日は絶対に走行(航)させないでください。
☆送信機内部は精密な電子部品でできていますので、アンテナやケースを伝わって水が入ると誤動作や不動となり危険です。
- ☆受信機、サーボ等が水没した時は、すぐに回収して内部を乾燥させてください。乾燥後、正常に動作しても念のために最寄りの三和サービスへ点検にお出しください。



- 受信機は精密機器です。強い衝撃や振動をあたえないでください。
- ☆厚手のスポンジ等を使用し、防振対策をおこなってください。
- 受信機はFETスピードコントローラー、モーター、バッテリーからできるだけ離して搭載してください。
- 金属シャシーやカーボンシャシーなどに搭載する場合は両面テープを3枚位かさねて使用し、受信機をシャシーから離してください。
- 電波障害がある場合は、受信機の搭載場所をかえるか、タテ積↔ヨコ積に搭載方法をかえてください。
- 受信機のそばにモーターコードやバッテリーコードがあると誤動作しやすくなるので、近づけないでください。
- 受信機のアンテナ線はできるだけ外へ出し、まっすぐ立てて張るようにしてください。
余分な長さを切断したり、折り返したりしないでください。
- ☆アンテナ線が短くなると走行(航)できる範囲が狭くなるので危険です。
- ☆アンテナ線は絶対に切断しないでください。



- アンテナ線はモーターコードやバッテリーコードに近づけないようにしてください。
- 金属シャシーやカーボンシャシーに導電性のピアノ線アンテナを使用するとノイズにより誤動作する可能性があります。シャシーにアンテナ線を近づけないようしてください。

! 警告 走行(航)の際の注意

RCカー、ボート等を走行(航)する場合は、必ず下記事項を守り、他の人の迷惑にならないようにご注意ください。

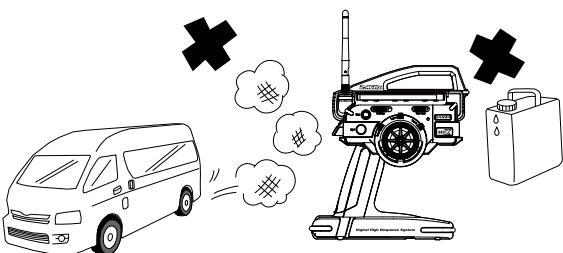
- 車体(船体)は完全に整備をして安全を確認してください。
- 人ごみや、道路では絶対にRCを走行させないでください。
- 走行(航)後は必ず動力バッテリーのコネクターをはずし、車体(船体)から動力バッテリーをはずしてください。
- 同時走行(航)の場合は必ず管制員を決めて、その指示に従って走行(航)してください。
- 他の人の走行(航)を妨げないようにご注意ください。
- ラジコン保険に必ず加入してください。ラジコン保険の加入申込は、ラジコン操縦士登録代行店にお問い合わせください。
- エンジンカーには必ず消音効果のある「マフラー」(消音機)を付けてください。
- 早朝からのエンジン始動はやめてください。
- 走行(航)場所は必ずきれいに掃除をしてから帰ってください。

! 注意 用途について

- 模型用以外には使用しないでください。
- 本製品は、模型用として日本国内の電波法に基づいて製造されていますので、海外ではご使用になれません。

! 注意 日常のお手入れ

- エンジンの排気や燃料がついた時は、やわらかい乾いた布で拭いてください。汚れがひどい時には、水または中性洗剤を染み込ませたきれいな柔らかい布を固くしぼって拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコール、モータークリーナー、ブレーキクリーナーなどは表面の仕上げをいためたり、変質する場合がありますので、ご使用にならないでください。

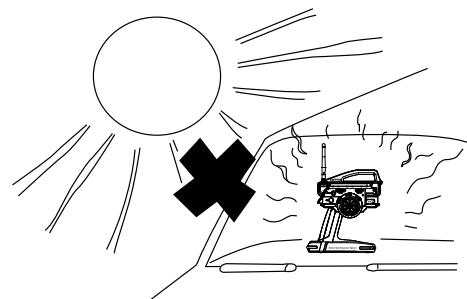


! 注意 送信機の取扱いについて

●ぶつけたり、落としたり強い衝撃を与えたいために、手で送信機、受信機、サーボ、FETスピードコントローラー等にさわると、故障やケース変形の原因となります。

! 注意 置き場所について

- 次のような場所で保管しないでください。
 - ☆極端に暑いところ、極端に寒いところ。
 - ☆直射日光が長時間あたるところ。
特に窓を閉めきった自動車内で直射日光が当たる場所に放置すると季節により車内温度が80°C以上になり、変形や故障の原因となる場合がありますので、充分ご注意ください。
 - ☆湿気の多いところ、風通しの悪いところ。
 - ☆振動の多いところ。
 - ☆ほこりの多いところ、蒸気や熱気が当たるところ。
 - ☆エンジンの排気がかかるところ、燃料缶のそば。



マークの意味 **警告** 事故や怪我をしないために必ず守っていただきたいこと。
注意 故障を起こさないために必ず守っていただきたいこと。



注意

安全に使用していただきための注意事項

- 2.4GHz帯はラジオコントロール専用の周波数ではありません。この周波数帯はISM(産業、科学、医療)バンドと共に共用されているので、都市部では電子レンジ、無線LAN、デジタルコードレス電話、オーディオ機器、ゲーム機や携帯電話のBluetooth、VICSなどの近距離通信の影響を受ける可能性があります。またアマチュア無線、移動識別用構内無線にも使用されているため、これらの影響に注意して使用してください。
なお、既存の無線局に有害な電波干渉を与えた場合は、速やかに電波の発射を停止し干渉回避対策をおこなってください。
- RCサーキット等では2.4GHzシステムに影響を与える可能性のある機器の使用を最小限にし、必ず事前に安全性の確認をおこなってください。また、施設管理者の指示に従ってください。
- 建物や鉄塔などの後ろを走行(航)させたときのように電波の到達方向を遮へいすると、操縦レスポンスの低下や操縦不能になる可能性があります。常に目視で確認出来る範囲で走行(航)してください。
- 日本国内では、技術適合証明試験を受け、認証番号を記載した技術適合証明ラベルが貼られている送信機やモジュールが使用できます。技術適合証明ラベルを剥がしたり汚したりしないでください。
- 海外からの輸入品等の場合で、技術適合証明ラベルが貼られていないプロポやモジュールを日本国内で使用することはできません。電波法違反になる場合があります。
- (財)日本ラジコン電波安全協会では、ラジオコントロールに使用する電波を安全に使用していくための啓発をおこなっています。同協会の名称の入った技術適合証明ラベルが貼られている送信機やモジュールの使用を推奨します。



※技術適合証明ラベル例



注意

安全に使用する際の注意事項

- 送信機のアンテナは構造上、電波の弱い方向があります。アンテナの先端を操縦している模型に絶対に向けないでください。
- 送信機のアンテナは使用時に地面と垂直になるように角度を調整してお持ちください。
- 走行中は送信機のアンテナを握ったりしないでください。電波の出力が弱くなり走行(航)できる範囲が狭くなるので危険です。
- 送信機のアンテナは特性上、金属製のクリップなどをアンテナに取り付けないでください。
- 送信機のアンテナは取り外しが可能ですが、アンテナ交換が必要な時以外は外さないでください。
本体のアンテナ端子に異物などが付着すると、電波の出力が弱くなり、走行(航)できる範囲が狭くなるので危険です。
内部ケーブルの断線、接点不良の原因となる恐れがあり、受信距離が短くなり危険です。
- アンテナを外した状態で送信機のパワースイッチをONにしないでください。出力部に負荷がかかり、最悪の場合送信機本体が壊れる可能性があります。
- 送信機のアンテナは可動式ですが、必要以上にむやみに廻したり、衝撃など与えないでください。
- 送信機のアンテナがゆるんでいると、電波の出力が弱くなる場合があり走行(航)できる範囲が狭くなり危険です。
使用する前にアンテナがゆるんでないか確認してください。
- 送信機のアンテナを受信機以外のサーボ、FETスピードコントローラー等極端に接近させると誤動作する場合がありますが、強い高周波出力の影響で異常ではありません。
- 受信機は精密機器です。強い衝撃や振動をあたえないでください。厚手のスポンジ等を使用し、防振対策をおこなってください。
- 受信機のアンテナ線はできるだけ外へ出し、まっすぐ立てて張るようにしてください。余分な長さを切断したり、折り返したりしないでください。
- 受信機のアンテナ線はモーターコードやバッテリーコードなどのノイズ源に近づけないでください。
- 金属シャシーやカーボンシャシーにレシーバーを搭載する場合は、両面テープなどを重ねて使用し、できるだけシャシーから離してください。

INDEX

■ セットの構成と規格	5
● セットの構成(5)	
● セットの規格(5)	
■ ご使用になる前に	6
● ドライビングポジションの調整(6,7)	
● 電源バッテリーを充電する(8)	
■ バインドについて	8
■ 送信機各部の名称	9
■ 各機能の使用方法	11
● キー操作について(11)	
● メニュー選択画面及び常時表示画面(12)	
● バッテリー電圧表示<BATT>(13)	
● オペレーションタイマー<BATT>(13)	
● ステアリングデュアルレート<D-RATE>(14)	
● エンドポイントアジャスト(ステアリング/スロットル) <EPA>(15)	
● エクスボネンシャル(ステアリング/スロットル) <EXP>(18)	
● アジャスタブルレートコントロール(ステアリング/スロットル) <ARC>(20)	
● スピード(ステアリング/スロットル) <SPEED>(22)	
● アンチロックブレーキ<ALB>(24)	
● トラクションコントロール<TR-CTL>(25)	
● モデルセレクト<SELECT>(27)	
● モデルネーム<NAME>(27)	
● モデルコピー<COPY>(28)	
● モデルクリア<CLEAR>(28)	
● サブトリム<SUB-T>(29)	
● ラップタイマー<LAP>(30)	
● インターバルタイマー<INT>(32)	
● ダウンタイマー<DOWN>(33)	
● サーボリバース<REV>(34)	
● スターティングポジション<S-POS>(35)	
● スロットルホールド<TH-HLD>(36)	
● ブレーキミキシング<BR-MIX>(37)	
● コンペんセーションミキシング<C-MIX>(39)	
● サーボモニター<SERVO>(42)	
● セットアップ<SET-UP>(43)	
● シグナル<SIGNAL>(47)	
● キーアサイン<E-ASGN>(49)	
● ユーザーネーム<USER>(52)	
● フェールセーフ<F-SAFE>(53)	
● ボリュームアジャスト<VR-ADJ>(55)	
● カスタマイズメニュー<C-MENU>(57)	
● ダイレクトサーボコントロール(58)	
■ 受信機の接続と搭載について	59
● 受信機各部の名称	
● アンテナの取扱いについて	
■ こんなときは	60
■ サンワサービスについて	61
■ 修理依頼カード	
■ 保証書	

セットの構成と規格

セットの構成

●ご使用になる前にセットの内容をお確かめください。

	Digital ERG-WG	Digital ERG-WX	PC・プライマリーコンポーネント
〈A〉送信機	TX-374	↔↔↔↔↔	↔↔↔↔↔
〈B〉受信機	RX-451	↔↔↔↔↔	↔↔↔↔↔
〈C〉サーボ	Digital ERG-WGx2	Digital ERG-WXx2	—
〈D〉RXバッテリー	5KR-600AE/Z	↔↔↔↔↔	—
〈E〉充電器	TRXチャージャー×1	↔↔↔↔↔	↔↔↔↔↔
〈F〉付属品	HGスイッチハーネス×1 DSCハーネス×1 ホーンセット×1 アブソーバーセット×1 取扱説明書×1	↔↔↔↔↔ ↔↔↔↔↔ ↔↔↔↔↔ ↔↔↔↔↔ ↔↔↔↔↔	↔↔↔↔↔ ↔↔↔↔↔ — — ↔↔↔↔↔

セットの規格

〈A〉送信機

品 番	TX-374
出 力 表 示	デジタル/アナログ表示(電源電圧表示)
変 調 方 式	2.4GHzスペクトラム拡散方式
電 源	NH6N-1500P
重 量	785 g

〈B〉受信機

品 番	RX-451
変 調 方 式	2.4GHzスペクトラム拡散方式
寸 法	36.3x24.0x14.6mm
電 源	DC4.8~6.0V
重 量	9 g

〈C〉サーボ

品 番	Digital ERG-WG
速 度	0.09sec/60° (6.0V)
ト ル ク	6.0kg・cm(6.0V)
寸 法	39.0x20.0x37.4mm
重 量	59 g

品 番	Digital ERG-WX
速 度	0.12sec/60° (6.0V)
ト ル ク	14.0kg・cm(6.0V)
寸 法	39.0x20.0x37.4mm
重 量	60 g

ご使用になる前に

ドライビングポジションの調整

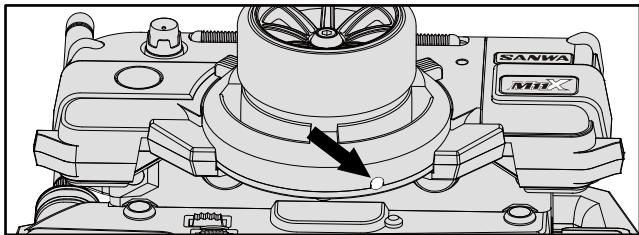
M11Xはウエイトバランスを徹底的に追求しました。2.4GHzになったことでアンテナが変更になり、送信機バッテリーを含めたトータルのバランスを再調整して、よりステアリングワークとスロットルワークに集中できるバランスを実現しました。

ステアリング/スロットルの操作感をユーザーの好みあわせられるようにステアリング/スロットルトリガーのテンションを調整できます。

ステアリングのテンション調整

右図の矢印の箇所に六角レンチドライバー(1.5mm)を挿して廻すことにより、ステアリングのスプリングテンションを調整できます。

※スプリングテンションは工場出荷時が一番柔らかい状態です。六角レンチドライバー(1.5mm)で締め込んでいくと、スプリングテンションは硬くなります。

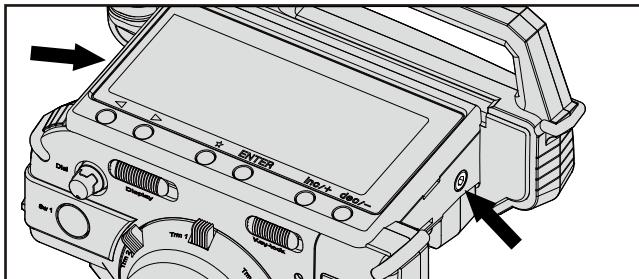


スロットルトリガーのテンション調整

1)送信機両側面にある六角穴付ボルト(M4)をはずします。

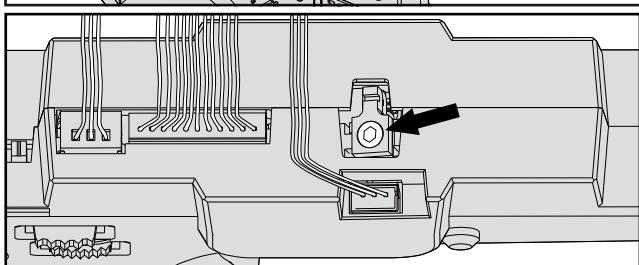
2)グリップ部をはずします。

※リード線に注意し、作業してください。



3)六角レンチドライバー(1.5mm)でトリガーテンションを調整できます。

※スプリングテンションは工場出荷時が一番柔らかい状態です。六角レンチで締め込んでいくと、スプリングテンションは硬くなります。



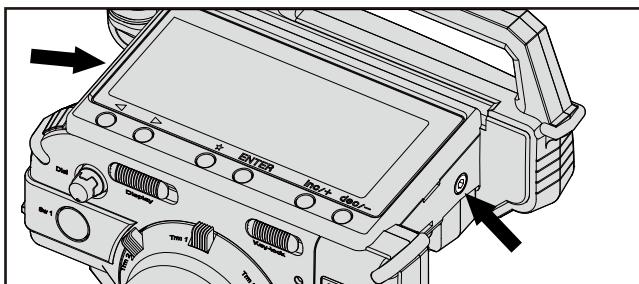
4)調整が終わったら、グリップを本体に取り付け
六角穴付ボルト(M4)で固定します。

※グリップを取り付ける際に、リード線を送信機本体とグリップにはさまないように注意してください。

ドライビングポジションの調整

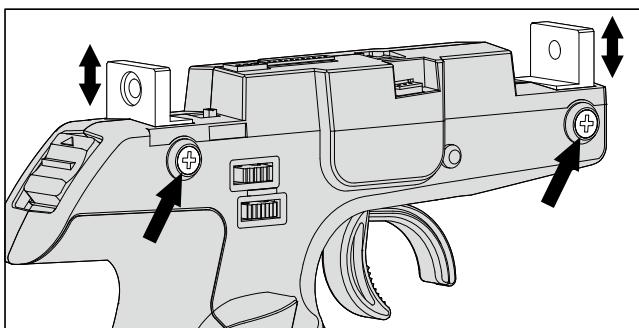
1)送信機両側面にある六角穴付ボルト(M4)をはずします。

2)コネクティングブロックを固定しているM3皿ビスをはずすと、グリップからコネクティングブロックがはずれます。



3)コネクティングブロックの位置が決まったら
送信機本体にグリップを取り付け、ビスを締めて
固定してください。

※グリップを取り付ける際に、リード線を送信機本体とグリップにはさまないように注意してください。



ご使用になる前に

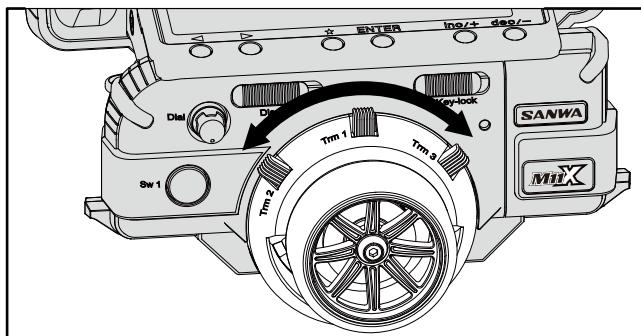
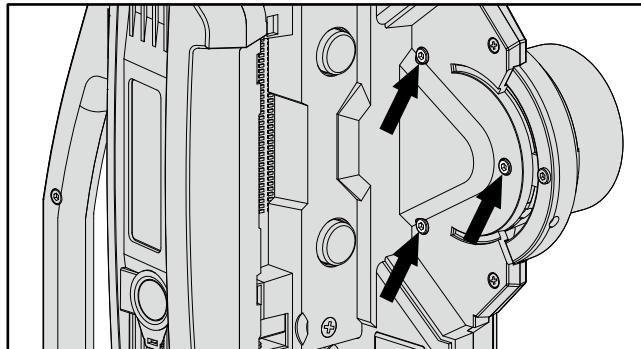
ドライビングポジションの調整
電源バッテリーを充電する

ドライビングポジションの調整

トリムポジションの調整

トリム部が回転することによって、ドライビングポジションに合わせてトリムの位置を調整できます。

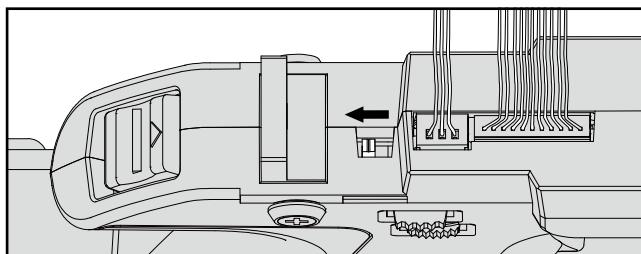
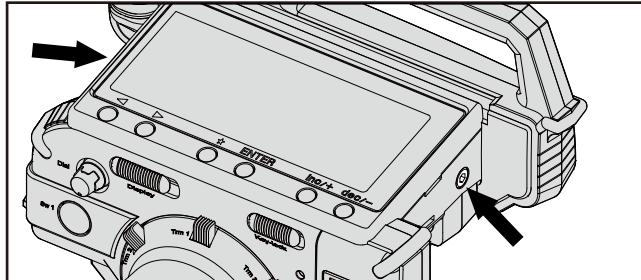
- 1)送信機両側面にある六角穴付ボルト(M4)をはずします。
- 2)グリップをはずします。
- 3)ステアリングホイル裏側の六角穴付ボルト(M2.6)を3本はずします。
- 4)ドライビングポジションに合わせて5ヶ所から選べます。位置が決まつたら六角穴付ボルト(M2.6)を締めてトリム部を固定します。
- 5)送信機本体にグリップを取り付け、六角穴付ボルト(M4)で固定します。
※グリップを取り付ける際に、リード線を送信機本体とグリップにはさまないように注意してください。



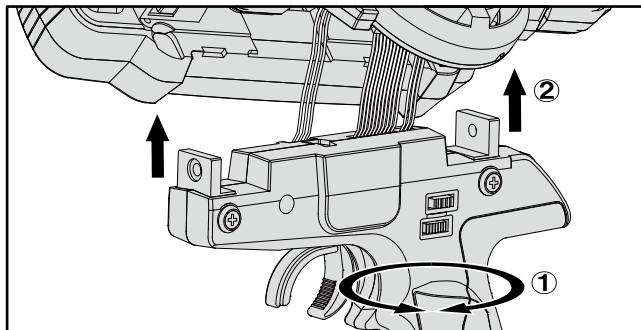
左右ドライビングポジションの切り換え

サウスロー(左利き)の方は左右ドライビングポジションの切り換えをおすすめします。

- 1)送信機両側面にある六角穴付ボルト(M4)をはずします。
- 2)グリップをはずします。
※リード線に注意して作業してください。
- 3)左右切り替えスイッチをL側に切り替えます。



- 4)グリップを180°回転させて送信機本体に取付けます。
※グリップを取り付ける際に、リード線を送信機本体とグリップにはさまないように注意してください。
- 5)六角穴付ボルト(M4)で固定します。



電源バッテリーを充電する

- 正しく安全にご使用いただくために、下記充電方法および注意事項をよく読んでください。
- お買上げいただいた状態では、充電されていません。必ず充電してから使用してください。

送/受信機バッテリーの充電

- 1)AC100Vのコンセントに付属の充電器を接続します。
- 2)送信機バッテリーを充電するときは送信機からバッテリーをはずして、付属の充電器に接続してください。
- 3)受信機バッテリーを充電する場合は車体からバッテリーをはずして、付属の充電器に接続してください。
- 4)バッテリーを接続して充電器のLEDが点灯している事を確認してください。

※お買上げ後はじめて使用される場合や、しばらく使用されなかった場合は、充放電を2~3回繰り返してバッテリーを活性化させてからご使用ください。

※送信機の充電ジャックに急速充電器を接続しないでください。

送信機の回路には過電流保護回路が内蔵されているため、急速充電器を接続して充電した場合、正常に充電されない場合があります。



警告 安全にお使いいただくためのバッテリー取扱上の注意事項

※充電式バッテリーをご使用の際には、次の事を必ずお守りください。

使用方法を誤ると漏液、発熱、破裂させるなどの原因となります。

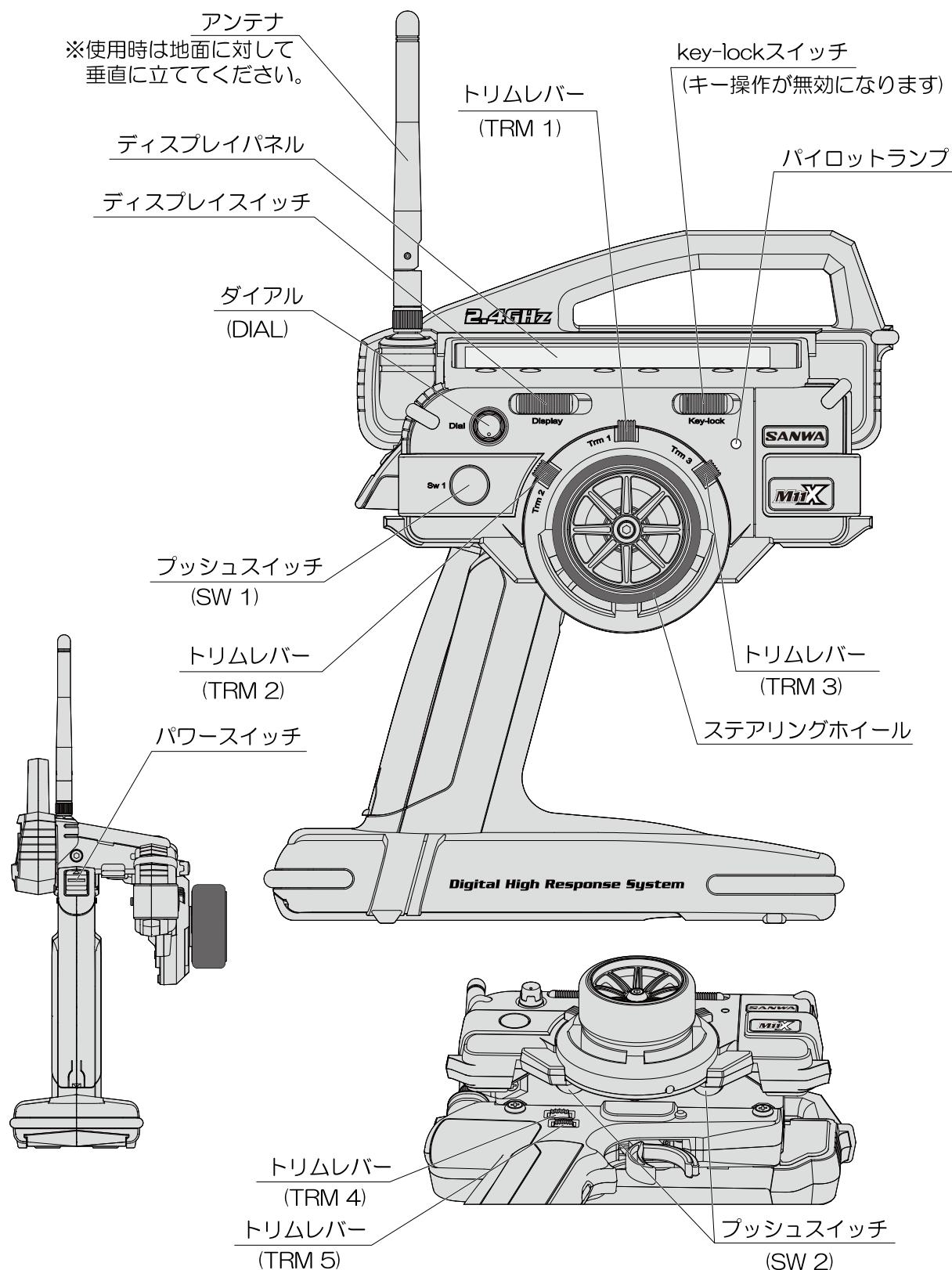
- 付属の充電器はAC100V以外の電源コンセントには差し込まないでください。
AC100V以外のコンセントに差し込むと、発煙、発火、火災の恐れがあります。
- 過充電はバッテリーを破損させるだけではなく、異常発熱、破裂、漏液等により、ヤケド、火災、ケガ、失明などの危険があります。
- 付属の充電器にバッテリーを接続する際は、プラス/マイナスが逆になつたりしないように極性に注意して接続してください。
- 火の中に投げ入れたり、加熱したりしないでください。
- プラスとマイナスを針金などの金属類で接続するなど、ショートさせないでください。
- 外装チューブをはがしたり、キズをつけないでください。
- 強い衝撃を与えたる、投げつけないでください。

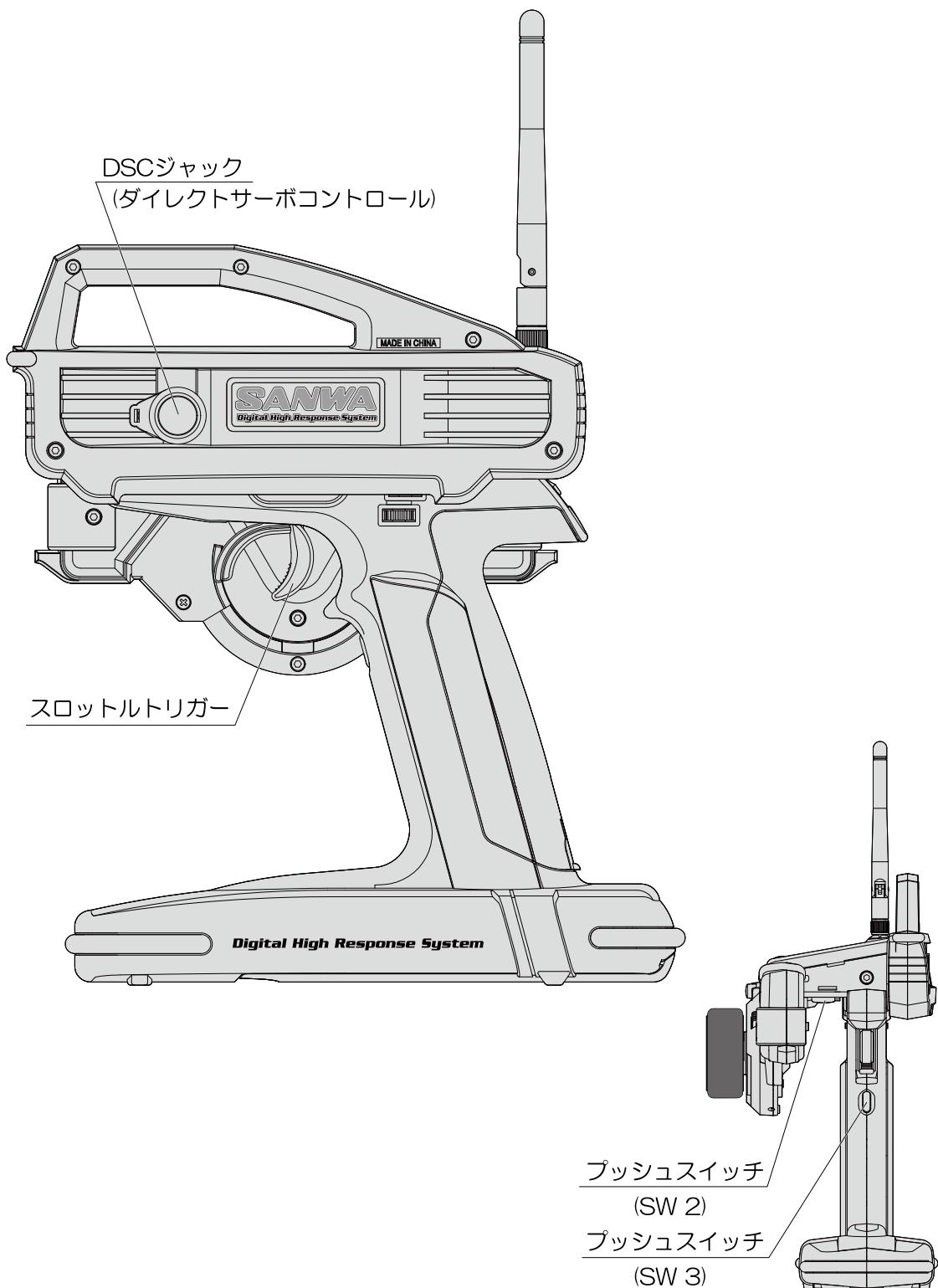
BIND(バインド)について

- BIND(バインド)とは：M11X送信機はそれぞれ固有のID(固体識別)番号をもっており、そのID番号を受信機に記憶させること(BIND)です。バインドした送信機と受信機のセットでしか動作しないようになります。
- 出荷時にはバインドされていません。ご使用になる前に必ずバインドをおこなってください。
- ご使用になる受信機にあわせて、M11XのTYPE(出力方式)の設定をしてからバインドをおこなってください。
送信機と受信機のタイプ(出力方式)があつてないと、バインド及び動作いたしませんのでご注意ください。
- 新たに受信機を購入された場合は、必ず送信機と新しい受信機でバインドをおこなってください。
- 必ずバインドした送信機と受信機のセットでお使いください。

※BIND(バインド)の詳しい設定については取扱説明書P.45、46の手順にしたがっておこなってください。

送信機各部の名称

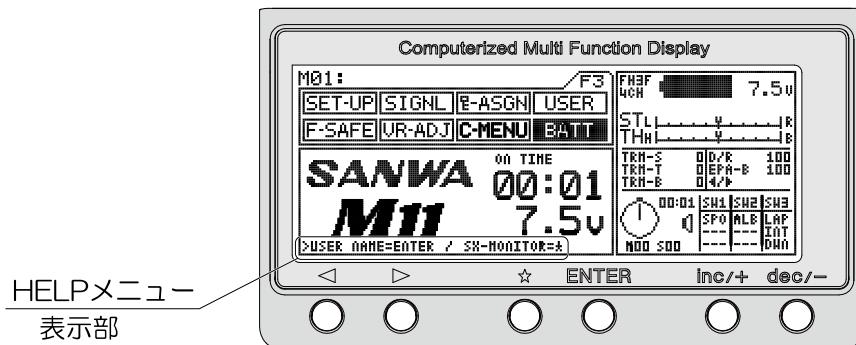




各機能の使用方法

キー操作について

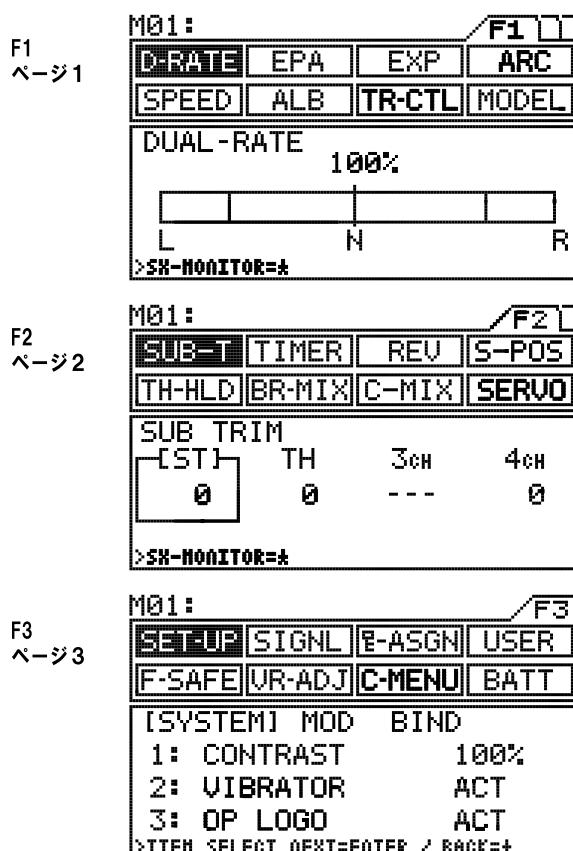
●操作キーは6つのキーからなり、設定、呼び出しを簡単におこなえます。



キー操作	名称	動作
	ファンクションセレクト レフトキー(左移動)	●カーソルを1つ左へ移動します。 ●画面の先頭のメニューにカーソルがある時に操作した場合は、前ページの最後尾のメニューに移動します。
	ファンクションセレクト ライトキー(右移動)	●カーソルを1つ右へ移動します。 ●画面の最後尾のメニューにカーソルがある時に操作した場合は、次ページの先頭のメニューに移動します。
	レフトキー・ライトキー 同時押し(ページ移動)	●F1→F2→F3→F1→... ページの先頭メニューへ移動します。
	スクロールキー	●スクロール、サーボモニター等、メニューにより動作が異なります。 画面下部のHELP表示部に動作が表示されます。
	エンターキー	●スクロール等、メニューにより動作が異なります。 画面下部のHELP表示部に動作が表示されます。
	プラスキー	●設定値をプラスします。 ●機能を決定します。
	マイナスキー	●設定値をマイナスします。 ●機能を否定します。
	プラスキー・マイナスキー 同時押し	●設定値がクリアされ、初期値に戻ります。

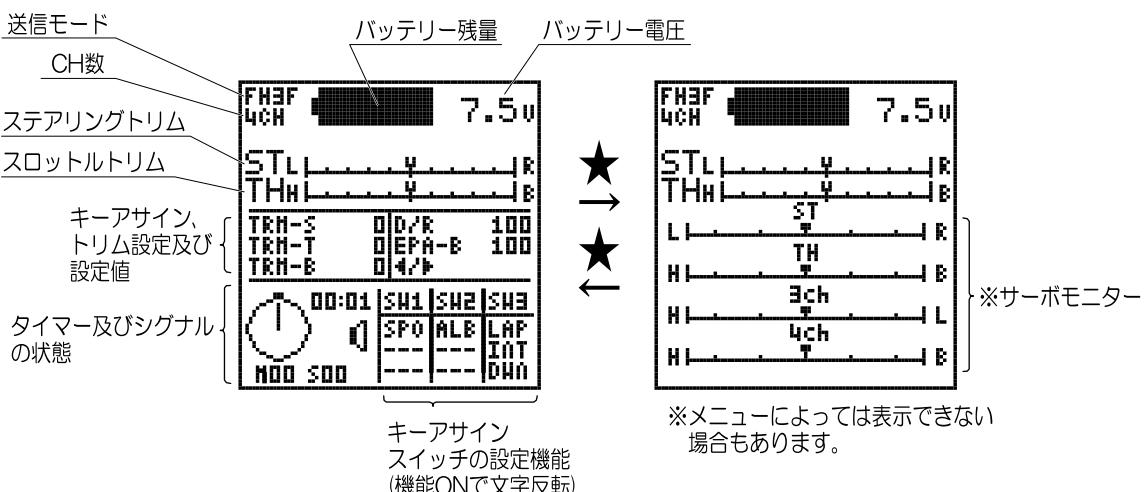
メニュー選択画面及び常時表示画面

- M11Xの各機能はF1～F3の3ページからなっており、◀、▶キーだけでダイレクトに機能を選択できるようになっています。
- また、◀、▶同時に押しによりF1→F2→F3→F1→…とファンクションページの頭出しができるようになっています。



- また、画面右側に常時表示エリアを設け、どのメニューからでも各機能の設定状態を確認できるようになっています。

また★キーにより、サーボモニター画面を表示させることもできます。



各機能の使用方法

バッテリー電圧表示

BATT

SET-UP SIGNAL E-ASGN USER
F-SAFE VR-ADJ C-MENU BATT

- 送信機のバッテリー電圧を0.1V単位で表示します。



常時表示部

バッテリー電圧表示



注意 ●バッテリーアラームについて

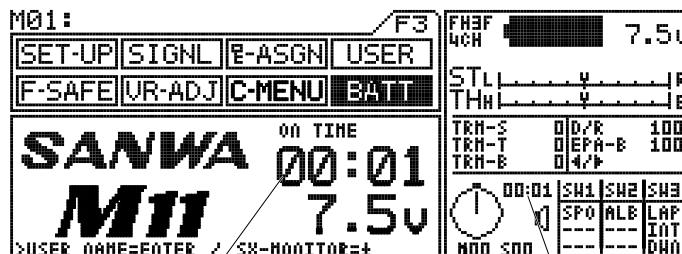
送信機のバッテリー電圧が6.7V以下になると、アラームが30秒毎に鳴りますので、すみやかに走行を中止して、送信機のバッテリーを交換/充電してください。

オペレーションタイマー

BATT

SET-UP SIGNAL E-ASGN USER
F-SAFE VR-ADJ C-MENU BATT

- 送信機のスイッチを入れている時間の表示、バッテリーの使用時間の目安になります。バッテリーを交換/充電した時は、INC/+キーとDEC/-キーを同時に押して、積算時間をリセットしてください。



常時表示部

オペレーションタイマー表示

補足

- ディスプレイスイッチで使用しているときも、オペレーションタイマーに加算されます。

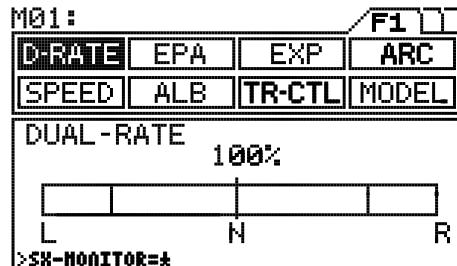
ステアリングデュアルレート

D-RATE

M01:	F1	
D-RATE	EPA	EXP
SPEED	ALB	TR-CTL

- ステアリングホイールを最大に操作したときの舵角(左右同角)を調整できます。RCカー や路面コンディションに対応させるために、走らせながら調整します。

- 1) ファンクションセレクトキーを押し、カーソルをD-RATEにあわせてください。

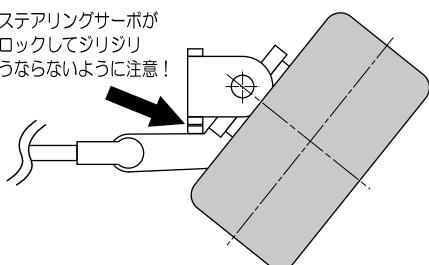


- 2) ステアリングホイールを左右のどちらかに操作し、RCカーのステアリングリンクージがロックするところまでINC/+またはDEC/-キーで調整し、その設定値から25%くらいD-RATEの設定値を減らします。
路面コンディションやタイヤのグリップに応じて走らせながらステアリングデュアルレートの調整をおこなってください。

○ 設定範囲 0%~150%

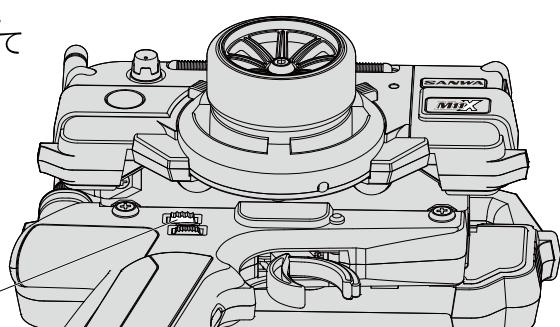
○ 初期値 100%

※ステアリングサーボが
ロックしてシリシリ
うならないように注意！



●ステアリングリンクージがロックした
状態が長く続くとサーボに過電流が流れ、
サーボモーター破損の原因になります。

- 3) 走行中のステアリングデュアルレート調整は、
グリップ部のトリムレバー(TRM4)で調整してください。
キーアサイントリム機能でトリムレバーの
位置変更が可能です。



補足

- ステアリングデュアルレートの調整をおこなう前に、ステアリングリンクージのエンドポイントアジャストをおこなってください。(P.15)
- ステアリングデュアルレート調整トリムをご使用にならない方は、
キーアサイントリム機能でOFFにしておくと誤操作がなく安全です。(P.50)

各機能の使用方法

エンドポイントアジャスト

EPA

M01:	F1
D-RATE	EPA
SPEED	ALB
	TR-CTL
	MODEL

- ステアリング左右の舵角調整、スロットルのハイ側、ブレーキ側の動作量の調整をします。
また、4CH設定時には3CH(ブレーキまたはAUX)、4CH(ブレーキ)の舵角調整も可能です。

[ST] ステアリング・エンドポイントアジャスト

- リンクージやサスバランス、タイヤ径の違いから左右のコーナリング半径が違うことがあります。このようなときに左右のサーボ舵角をあわせます。

1) EPAの設定の前に、サーボのニュートラル調整(P.29参照)をおこなってください。
ニュートラル調整とは、電源を入れてサーボホーンをおよそのセンター位置に取り付け、サブトリムで微調整することです。

2) ファンクションセレクトキーにより、EPAの[ST]にカーソルを移動します。

3) ステアリングのR側を設定するときは、
ステアリングホイールを右に操作しながら
INC/+またはDEC/-キーで調整します。
L側は左に操作しながら同様に調整します。

○設定範囲 0~150%

○初期値 100%

M01:	F1
D-RATE	EPA
SPEED	ALB
	TR-CTL
	MODEL
END POINT ADJUSTMENT	
[ST] TH 3CH 4CH	
100%L	100%H 100%H ---
100%R	100%R 100%L 100%R
TH	4CH
>SH-MONITOR=&	



- ステアリングデュアルレートとステアリングEPAと共に大きく設定しすぎると、
ステアリングホイールを操作してもサーボが動作しない範囲が発生しますので、
ご注意ください。

[TH] スロットル・エンドポイントアジャスト

- FETスピードコントローラーのハイポイント、ブレーキポイントの調整、キャブレターのストローク調整をおこないます。

1) ファンクションセレクトキーにより、EPAの[TH]にカーソルを移動します。

2) FETスピードコントローラーを調整する場合、
通常はハイ側、ブレーキ共に設定値を100%にしておき、FETスピードコントローラー側でハイポイント、ブレーキポイントを設定します。
(FETスピードコントローラーによって、設定方法は異なります。)

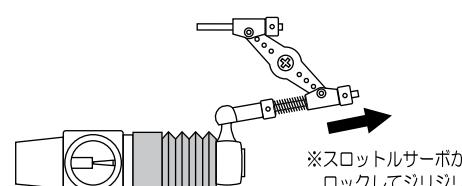
エンジンカーでスロットルのハイ側をあわせる時は、スロットルトリガーをハイ側に操作しながら、INC/+またはDEC/-キーで調整します。

○設定範囲 ハイ側 0~140%

ブレーキ側 0~160%

○初期値 100%

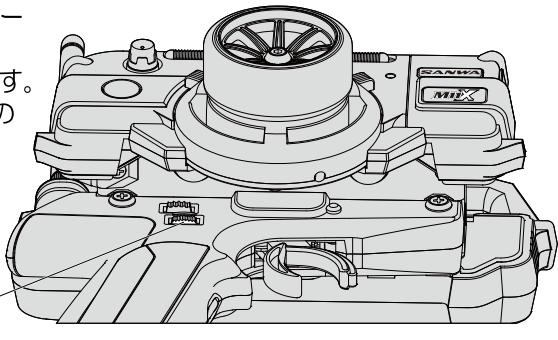
M01:	F1
D-RATE	EPA
SPEED	ALB
	TR-CTL
	MODEL
END POINT ADJUSTMENT	
ST [TH] 3CH 4CH	
100%L	100%H 100%H ---
100%R	100%R 100%L 100%R
TH	4CH
>SH-MONITOR=&	



※スロットルサーボがロックしてジリジリうならないように注意！

3)走行中のブレーキ調整は、グリップ部のトリムレバー(TRM5)で調整をおこないます。

TRM5による調整でEPA-Bの設定値を可変できます。
4CH設定時はブレーキ設定されているチャンネルの設定値も同時に可変されます。



注意

- スロットルリンクエージでキャブレター全開側、ブレーキ側のEPAの設定値が大きすぎると、サーボがロック状態になりサーボモーターの故障原因となり、暴走の危険があります。

補足

- ブレーキ調整のトリムレバー(TRM5)はキーアサイントリム機能で設定箇所を変更することができます。(P.50)

4CH設定時

[3CH] AUX・エンドポイントアジャスト (BR-MIX 3CH-BRAKE INHの場合)

●AUXはニードルコントロール等に使用でき、EPAにより最大舵角の微調整が可能になります。H(ハイ)/L(ロー)個別に設定可能なので、こまかい調整が可能です。

※設定する前に、キーアサイントリム機能でDIALもしくはTRMに3CHの機能を割り当ててください。(P.50)

1)SET-UPメニューのCHANNEL設定が4、BR-MIXメニューの3CH-BRAKEの設定がINHに設定されているか確認します。設定されていないと使用できません。

2)ファンクションセレクトキーにより、EPAの[3CH]にカーソルを移動します。

3)3CHのH側を設定するときは、キーアサイントリム機能で割り当てたDIAL/TRMで3CHの設定値を+側に設定してから、INC/+、DEC/-キーで調整してください。

L側を設定するときは、DIAL/TRMで3CHの設定値を-側に設定してから、INC/+、DEC/-キーで調整してください。

- 設定範囲 0~150%
- 初期値 100%

M01:				F1
D-RATE	EPA	EXP	ARC	
SPEED	ALB	TR-CTL	MODEL	
END POINT ADJUSTMENT				
ST	TH	[3CH]	4CH	
100%L	100%H	100%H	---	
100%R	100%L	100%L	100%R	
TH				4CH
>SH-MONITOR=&				

補足

- AUXはキーアサイントリム機能の初期設定では割り当てられていませんので、ご使用になる前にAUXの機能をDIAL/TRM1~TRM5のどれかに割り当ててください。(P.50)

各機能の使用方法

エンドポイントアジャスト

EPA

M01:	F1
D-RATE	EPA
SPEED	ALB
EXP	ARC
TR-CTL	MODEL

4CH設定時

[3CH] AUX・エンドポイントアジャスト (BR-MIX 3CH-BRAKE ACTの場合)

●3CHをBRAKEとして使用する場合、他のBRAKE CHのEPAとは別に設定が可能になります。

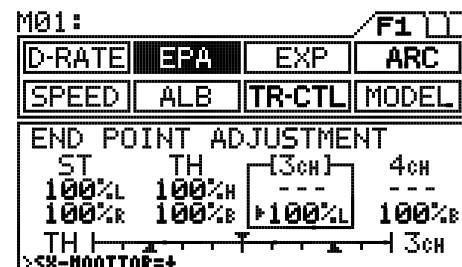
1)SET-UPメニューのCHANNEL設定が4、BR-MIXメニューの3CH-BRAKEがACTに設定されているか確認します。
設定されていないと使用できません。

2)ファンクションセレクトキーにより、EPAの[3CH]にカーソルを移動します。

3)スロットルトリガーをブレーキ側に操作し、INC/+またはDEC/-キーで調整します。

- 設定範囲 0~160%
- 初期値 100%

4)走行中のブレーキ調整は、グリップ部のトリムレバー(TRM5)で調整します。 P.16[TH]EPAの3参照



注意 ●ブレーキ専用チャンネルになっていますので、BRAKE側しか設定できません。

[4CH] 4CH-BRAKE・エンドポイントアジャスト

●4CHはBRAKE専用チャンネルです。他のBRAKE CHのEPAとは別に設定が可能になります。

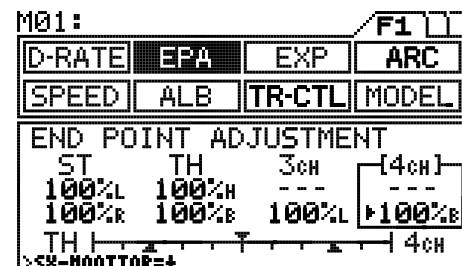
1)SET-UPメニューのCHANNEL設定が4に設定されているか確認します。
設定されていないと使用できません。

2)ファンクションセレクトキーにより、EPAの[4CH]にカーソルを移動します。

3)スロットルトリガーをブレーキ側に操作し、INC/+またはDEC/-キーで調整します。

- 設定範囲 0~160%
- 初期値 100%

4)走行中のブレーキ調整は、グリップ部のトリムレバー(TRM5)で調整します。 P.16[TH]EPAの3参照



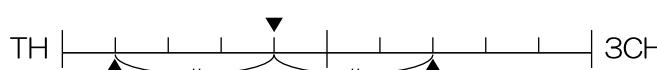
注意 ●ブレーキ専用チャンネルになっていますので、BRAKE側しか設定できません。

補足

●バランスバーグラフ表示について

画面下部にあるバーグラフは、ブレーキチャンネルを2つ以上設定した時に有効となります。
このグラフの▼は両サイドに表示されているチャンネル(ここでは、左TH、右3CH)の2つのEPAの設定値のセンター位置を表示しています。ブレーキの前後バランスの目安としてご使用ください。なお▲位置はそれぞれEPAの設定値を示しています。

また、3CH-BRAKE ACT時にはENTERキーにてTH↔3CH、3CH↔4CHのバランス表示が交互に切りかれます。3CH-BRAKE INH時は、TH↔4CH固定表示となります。

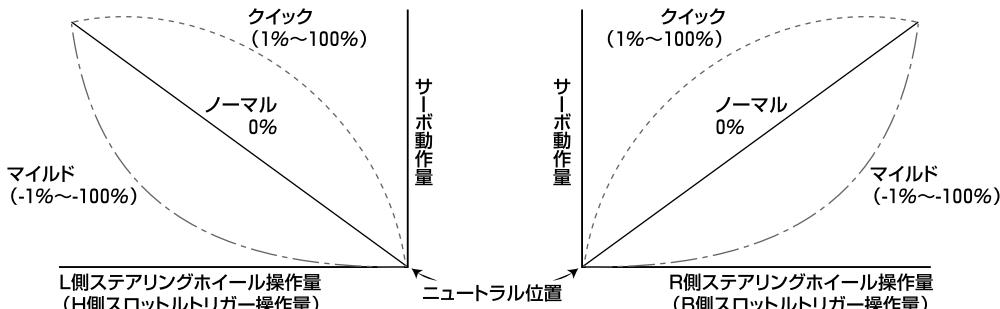


エクスパンシャル

EXP

M01:	F1	
D-RATE	EPA	EXP
SPEED	ALB	TR-CTL

- ステアリングホイール/スロットルトリガーの操作に対して、サーボの動作量を可変させる機能です。数値をプラス(+)側にするとクイックに。マイナス(-)側にするとマイルドに反応します。



[ST] ステアリング・エクスパンシャル

- ステアリング特性をマイルド⇒リニア⇒クイックまで可変できます。一般的にRCカーがオーバーステアに感じられたときは、設定値をマイナス側に調整し、アンダーステアに感じたときは、数値をプラス側に設定します。

1)ファンクションセレクトキーにより、EXP[ST]にカーソルを移動します。

2)INC/+、DEC/-キーでEXPを調整します。

- 設定範囲 -100%~100%
- 初期値 0

M01:	F1	
D-RATE	EPA	EXP
SPEED	ALB	TR-CTL

5 [ST] TH 5
OUTPUT ▶ 50% OUTPUT
TWEAK 0 0
L EXP ACT R
>ITEM SELECT=ENTER / SH-MONITOR=a

3)TWEAKの設定

ステアリングのL側とR側でバランスを微調整したい場合にTWEAKで設定します。

- ・まずENTERキーで◀または▶をTWEAKの下に移動させます。
- ・ここでステアリングの左側を設定する場合はステアリングホイールを左に操作して矢印の向きを◀にします。右側を設定する場合はステアリングホイールを右に操作して矢印の向きを▶にします。
- ・調整する方向にステアリングを操作しながら、INC/+またはDEC/-キーでTWEAKを調整します。

- 設定範囲 -20~20
- 初期値 0

M01:	F1	
D-RATE	EPA	EXP
SPEED	ALB	TR-CTL

5 [ST] TH 5
OUTPUT ▶ 50% OUTPUT
TWEAK 0 4 0
L EXP ACT R
>ITEM SELECT=ENTER / SH-MONITOR=a

4)EXPのINH/ACT

- 有効にする場合はACTに、無効にする場合にはINHにします。
- ・ENTERキーで▶をEXPの右横に移動します。
 - ・INC/+またはDEC/-キーでINH/ACTを設定します。

M01:	F1	
D-RATE	EPA	EXP
SPEED	ALB	TR-CTL

5 [ST] TH 5
OUTPUT ▶ 50% OUTPUT
TWEAK 0 0
L EXP ▶ ACT R
>ITEM SELECT=ENTER / SH-MONITOR=a

各機能の使用方法

エクスプロンシャル

EXP

M01:	F1	
D-RATE	EPA	EXP
SPEED	ALB	TR-CTL

[TH] スロットル・エクスプロンシャル

- スロットル特性をマイルド↔リニア↔クイックまで可変できます。一般的に滑りやすい路面やオーバーパワーと感じるときには設定値をマイナス側に調整し、ハイグリップな路面状態やパワーユニットにパワー不足を感じるときには、数値をプラス側に設定します。
ハイ側/ブレーキ側を個別に設定可能です。

1) ファンクションセレクトキーにより、EXP[TH]にカーソルを移動します。

2) ▶がHの右横にあることを確認し、THのハイ側のEXPの設定をINC/+、DEC/-キーで調整します。

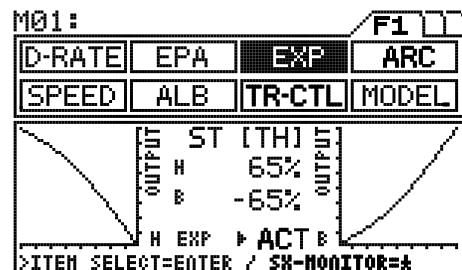
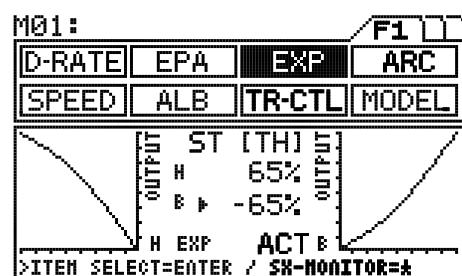
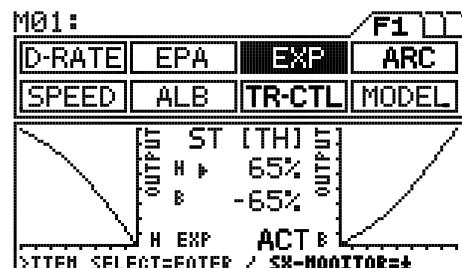
○設定範囲 -100%~100%
○初期値 0

3) ENTERキーで▶をBの右横に移動して、THのブレーキ側のEXPの設定をINC/+、DEC/-キーで調整します。

○設定範囲 -100%~100%
○初期値 0

4) EXPのINH/ACT
有効にする場合はACTに、無効にする場合にはINHにします。

- ENTERキーで▶をEXPの右横に移動します。
- INC/+またはDEC/-キーでINH/ACTを設定します。



重要

●EXP INH/ACTについて

EXP INH/ACTの設定はメニュー上で切りかえる方法とは別に、キーアサインスイッチ機能で切りかえる方法があります。

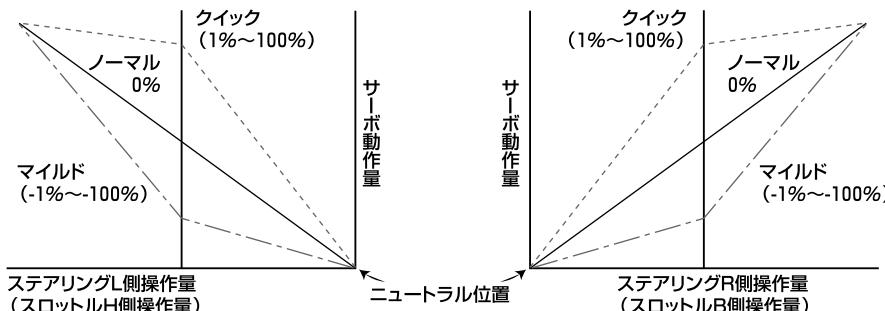
この機能を使うと、どのメニューからでも操作可能になり、走行中にも設定したスイッチで、EXP機能のオン/オフが簡単にできるようになります。(P.49)

アジャスタブルレートコントロール

ARC

M01:	F1		
D-RATE	EPA	EXP	ARC
SPEED	ALB	TR-CTL	MODEL

- ステアリングホイール/スロットルトリガーの操作に対して、サーボの動作量を可変させる機能です。数値をプラス(+)側にするとクイックに。マイナス(-)側にするとマイルドに反応します。また、POINTの設定を調整することで、動作が可変する位置を変えることができます。



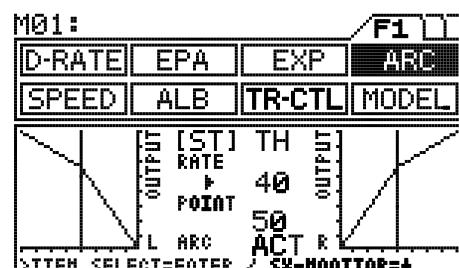
[ST] ステアリング・アジャスタブルレートコントロール

- ステアリング特性をマイルド⇨リニア⇨クイックまで可変できます。一般的にRCカーがオーバーステアに感じられるときは設定値をマイナス側に調整し、アンダーステアに感じたときは数値をプラス側に設定します。

1)ファンクションセレクトキーにより、ARC[ST]にカーソルを移動します。

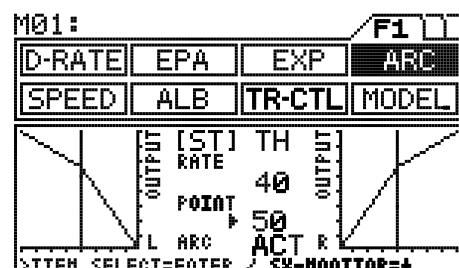
2)レートの設定(RATE)
▶がRATEの下にあることを確認し、INC/+、DEC/-キーでARCのRATEを調整します。

○設定範囲 -100%~100%
○初期値 0

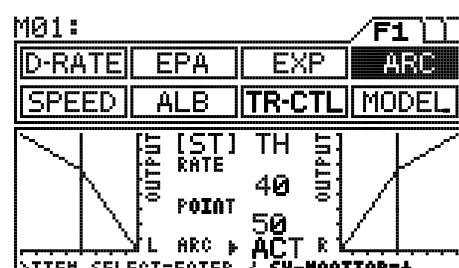


3)ポイントの設定(POINT)
ENTERキーで▶をPOINTの下に移動して、INC/+、DEC/-キーでPOINTを調整します。

○設定範囲 5~95
○初期値 50



4)ARCのINH/ACT
有効にする場合はACTに、無効にする場合にはINHにします。
・ENTERキーで▶をARCの右横に移動します。
・INC/+またはDEC/-キーでINH/ACTを設定します。



各機能の使用方法

アジャスタブルレートコントロール

ARC

M01:	F1
D-RATE	EPA
SPEED	ALB
EXP	ARC
TR-CTL	MODEL

[TH] スロットル・アジャスタブルレートコントロール

- スロットル特性をマイルド↔リニア↔クイックまで可変できます。一般的に滑りやすい路面やオーバーパワーと感じるときには設定値をマイナス側に調整し、ハイグリップな路面状態やパワーユニットにパワー不足を感じるときには、数値をプラス側に設定します。
ハイ側/ブレーキ側を個別に設定可能です。

1) ファンクションセレクトキーにより、ARC[TH]にカーソルを移動します。

2) レートの設定(RATE)

◀または▶がRATEの下にあるか確認します。

スロットルのハイ側を設定する場合、トリガーをハイ側に操作し、矢印の向きを◀にします。ブレーキ側を設定する場合は、トリガーをブレーキ側に操作し、矢印の向きを▶にします。

INC/+、DEC/-キーでRATEを設定します。

○設定範囲 -100%~100%

○初期値 0

3) ポイントの設定(POINT)

ENTERキーで◀または▶をPOINTの下に移動します。
スロットルのハイ側を設定する場合、トリガーをハイ側に操作し、矢印の向きを◀にします。ブレーキ側を設定する場合は、トリガーをブレーキ側に操作し、矢印の向きを▶にします。

INC/+、DEC/-キーでPOINTを設定します。

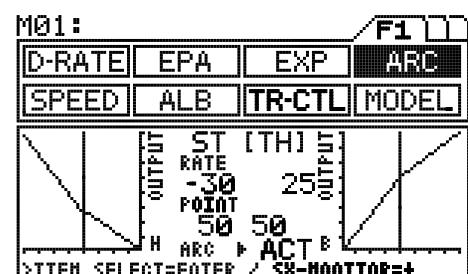
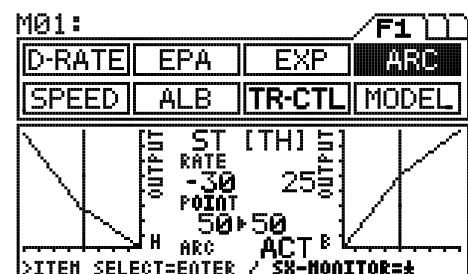
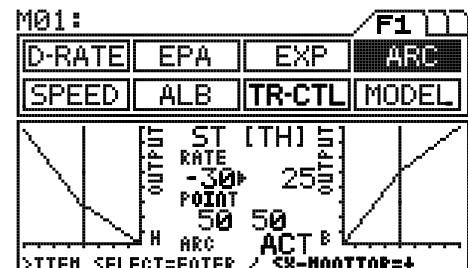
○設定範囲 5~95

○初期値 50

4) ARCのINH/ACT

有効にする場合はACTに、無効にする場合にはINHにします。

- ENTERキーで▶をARCの右横に移動します。
- INC/+またはDEC/-キーでINH/ACTを設定します。



重要

●ARC INH/ACTについて

ARC INH/ACTの設定はメニュー上で切りかえる方法とは別に、キーアサインスイッチ機能で切りかえる方法があります。

この機能を使うと、どのメニューからでも操作可能になり、走行中にも設定したスイッチで、ARC機能のオン/オフが簡単にできるようになります。(P.49)

スピード

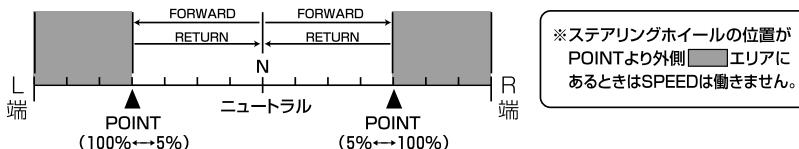
SPEED

M01:	F1	
D-RATE	EPA	EXP
SPEED	ALB	TR-CTL

- サーボのスピードを制御する機能です。ステアリング側ではスムーズなコーナーワークが可能となり、スロットル側ではパワーセーブしたスロットルワークでコーナーから安定した立ち上がりを実現します。
- POINT設定でSPEEDが動作する位置を変えることができます。

[ST] ステアリング・サーボスピード

- ステアリングワークに対して、ステアリングサーボのスピードを遅らせる機能です。ステアリングをきるとき(フォワード)と戻すとき(リターン)のスピードを独立して設定できます。なお、設定スピードより遅いステアリング操作では、サーボスピードは働きません。



- 1) ファンクションセレクトキーにより、SPEED[ST]にカーソルを移動します。

M01:	F1	
D-RATE	EPA	EXP
SPEED	ALB	TR-CTL

- 2) フォワード側の設定(FORWARD)

▶がFORWARDの右横にあることを確認し、INC/+、DEC/-キーでFORWARD側を設定します。

○設定範囲 0~−100
○初期値 0

SPEED	[ST]	BR
FORWAR	▶	0 POINT 100%
RETURN	▶	0 SPEED ACT

L-----R
>ITEM SELECT=ENTER / X-MONITOR=*

- 3) リターン側の設定(RETURN)

ENTERキーで▶をRETURNの右横に移動して、INC/+、DEC/-キーでRETURN側を設定します。

○設定範囲 0~−100
○初期値 0

M01:	F1	
D-RATE	EPA	EXP
SPEED	ALB	TR-CTL

SPEED	[ST]	BR
FORWAR	▶	0 POINT 100%
RETURN	▶	0 SPEED ACT

L-----R
>ITEM SELECT=ENTER / X-MONITOR=*

- 4) ポイントの設定(POINT)

ENTERキーで▶をPOINTの右横に移動して、INC/+、DEC/-キーでPOINTを設定します。

○設定範囲 5%~100%
○初期値 100%

M01:	F1	
D-RATE	EPA	EXP
SPEED	ALB	TR-CTL

SPEED	[ST]	BR
FORWAR	▶	0 POINT ▶ 100%
RETURN	▶	0 SPEED ACT

L-----R
>ITEM SELECT=ENTER / X-MONITOR=*

- 5) SPEEDのINH/ACTの設定

SPEEDを有効にする場合はACTに、無効の場合にはINHにします。

- ENTERキーで▶をSPEEDの右横に移動します。
- INC/+またはDEC/-キーでINH/ACTを設定します。

補足

- RCカーのドライビングでは、RCカーの動きにあわせたステアリング操作が重要であり、過大操作は禁物です。ステアリングスピードは無駄な操作をおさえ、スムーズなコーナリングを実現できます。
- ステアリングスピードとステアリングエクスボネンシャルを併用すると、さらに効果が倍増します。

M01:	F1	
D-RATE	EPA	EXP
SPEED	ALB	TR-CTL

SPEED	[ST]	BR
FORWAR	▶	0 POINT 100%
RETURN	▶	0 SPEED ▶ ACT

L-----R
>ITEM SELECT=ENTER / X-MONITOR=*

各機能の使用方法

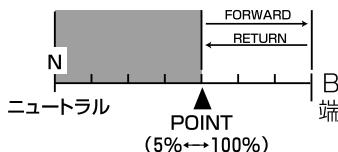
スピード

SPEED

M01:	F1
D-RATE	EPA EXP ARC
SPEED	ALB TR-CTL MODEL

[BR] ブレーキング・サーボスピード

- スロットル操作のブレーキに対して、スロットルサーボのブレーキの動作スピードを遅らせる機能です。



- 1)ファンクションセレクトキーにより、SPEED[BR]にカーソルを移動します。

- 2)フォワード側の設定(FORWARD)

▶がFORWARDの右横にあることを確認し、INC/+、DEC/-キーでFORWARD側を設定します。

○設定範囲 0~−100
○初期値 0

- 3)リターン側の設定(RETURN)

ENTERキーで▶をRETURNの右横に移動して、INC/+、DEC/-キーでRETURN側を設定します。

○設定範囲 0~−100
○初期値 0

- 4)ポイントの設定(POINT)

ENTERキーで▶をPOINTの右横に移動して、INC/+、DEC/-キーでPOINTを設定します。

○設定範囲 5%~100%
○初期値 100%

- 5)SPEEDのINH/ACTの設定

SPEEDを有効にする場合はACTに、無効の場合にはINHにします。

- ENTERキーで▶をSPEEDの右横に移動します。
- INC/+またはDEC/-キーでINH/ACTを設定します。

補足

- ブレーキングスピードとスロットルエクスボンシャルを併用すると、さらに効果が倍増します。

重要

- SPEED INH/ACTについて

SPEED INH/ACTの設定はメニュー上で切りかえる方法とは別に、キーアサインスイッチ機能で切りかえる方法があります。この機能を使うと、どのメニューからでも操作可能になります。走行中にも設定したスイッチで、SPEED機能のオン/オフが簡単にできるようになります。(P.49)

M01:	F1
D-RATE	EPA EXP ARC
SPEED	ALB TR-CTL MODEL

SPEED	ST [BR]
FORWAR	◀ 0 POINT 100%
RETURN	◀ 0 SPEED ACT

N-----R
>ITEM SELECT=ENTER / X-MONITOR=*

M01:	F1
D-RATE	EPA EXP ARC
SPEED	ALB TR-CTL MODEL

SPEED	ST [BR]
FORWAR	◀ 0 POINT 100%
RETURN	◀ 0 SPEED ACT

N-----R
>ITEM SELECT=ENTER / X-MONITOR=*

M01:	F1
D-RATE	EPA EXP ARC
SPEED	ALB TR-CTL MODEL

SPEED	ST [BR]
FORWAR	◀ 0 POINT ▶ 100%
RETURN	◀ 0 SPEED ACT

N-----R
>ITEM SELECT=ENTER / X-MONITOR=*

M01:	F1
D-RATE	EPA EXP ARC
SPEED	ALB TR-CTL MODEL

SPEED	ST [BR]
FORWAR	◀ 0 POINT 100%
RETURN	◀ 0 SPEED ▶ ACT

N-----R
>ITEM SELECT=ENTER / X-MONITOR=*

アンチロックブレーキ

ALB

M01:	F1
D-RATE	EPA
SPEED	ALB

- アンチロックブレーキにより、グリップが低い路面で安定したブレーキングが可能となります。
- ブレーキングが安定するため、狙い通りのコーナリングラインをトレースすることができます。

1) ファンクションセレクトキーにより、ALBにカーソルを移動します。

2) ポイントの設定(POINT)

▶がPOINTの右横にあることを確認し、INC/+、DEC/-キーでPOINTを設定します。

○設定範囲 1%~100%

○初期値 90%

POINT : ALBの動作を始める位置

3) ストロークの設定(STROKE)

ENTERキーで▶をSTROKEの右横に移動して、INC/+、DEC/-キーでSTROKEを設定します。

○設定範囲 0~100

○初期値 50

STROKE : 繰り返し動作の幅

4) ラグの設定(LAG)

ENTERキーで▶をLAGの右横に移動して、INC/+、DEC/-キーでLAGを設定します。

○設定範囲 0.0~2.0

○初期値 0.5

LAG : ALBが動作を始めるまでのタイムラグ

5) スピードの設定(SPEED)

ENTERキーで▶をSPEEDの右横に移動して、INC/+、DEC/-キーでSPEEDを設定します。

○設定範囲 -1~-30

○初期値 -2

SPEED : 繰り返し動作スピード

6) スイッチの設定(SW)

ENTERキーで▶をSWの右横に移動して、INC/+、DEC/-でSWを設定します。

PUSH↔TOGGLE↔ACTを切りかえることができます。

補足

●RCカーのタイヤがグリップ力を失わない(すべらない)程度にブレーキを強めに効かせ、タイヤがロックしてすべる寸前にアンチロックブレーキが働くように調整してください。

M01:	F1
D-RATE	EPA
SPEED	ALB

ANTI LOCK BRAKE
POINT ▶ 90%
STROKE ▶ 50
LAG ▶ 0.5
>ITEM SELECT=ENTER / X-MONITOR=A

(ブレーキのトリガー) (トリガー操作がこの位置より操作を表示) (右側(B側)ある時にALBが作動)

M01:	F1
D-RATE	EPA
SPEED	ALB

ANTI LOCK BRAKE
POINT 90%
STROKE ▶ 50
LAG ▶ 0.5
>ITEM SELECT=ENTER / X-MONITOR=A

M01:	F1
D-RATE	EPA
SPEED	ALB

ANTI LOCK BRAKE
POINT 90%
STROKE 50
LAG ▶ 0.5
>ITEM SELECT=ENTER / X-MONITOR=A

M01:	F1
D-RATE	EPA
SPEED	ALB

ANTI LOCK BRAKE
POINT 90%
STROKE 50
LAG 0.5
>ITEM SELECT=ENTER / X-MONITOR=A

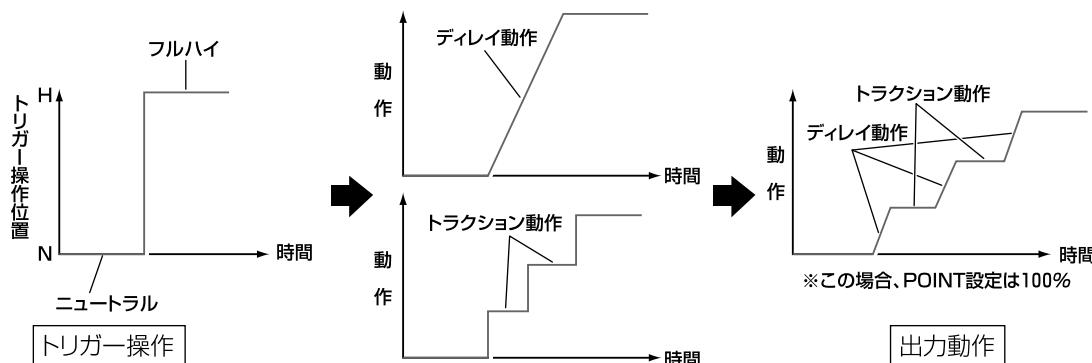
M01:	F1
D-RATE	EPA
SPEED	ALB

ANTI LOCK BRAKE
POINT 90%
STROKE 50
LAG 0.5
>ITEM SELECT=ENTER / X-MONITOR=A

各機能の使用方法

トラクションコントロール		M01: D-RATE EPA EXP ARC SPEED ALB TR-CTL MODEL			
TR-CTL		F1			

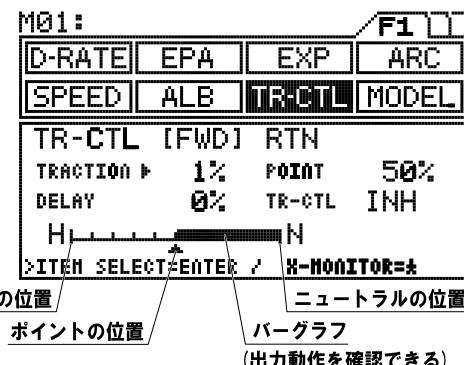
- スタート時の急激なスロットル操作にたいしても、ホイルスピンを防ぎ、より速くスムーズなスタートができます。
- 走行中の加速時にも車体を安定させることができます、より良いフィーリングが得られます。
- 通常のサーボスピードと同じディレイ調整に加え、断続的なロック状態を調整することで、より細かく理想的なフィーリングを造り出すことができます。
- ポイント設定、スイッチ設定(キーアサイン機能)により必要な部分、必要な時に作動させることも可能です。
- この機能は、スロットルのハイ側の動作に対してフォワード側とリターン側を別々に調整できます。



1) ファンクションセレクトキーにより、TR-CTL[FWD]にカーソルを移動します。

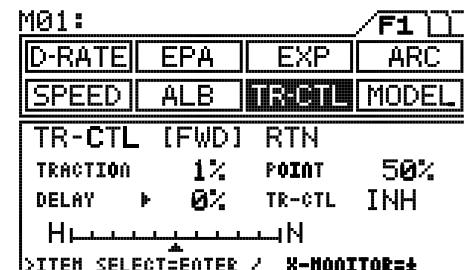
2) トラクションの設定(TRACTION)
 ▶がTRACTIONの右横にあることを確認し、INC/+、DEC/-キーでTRACTIONを設定します。

○設定範囲 1%~100%
 ○初期値 1% INH (オフ)



3) ディレイの設定(DELAY)
 ENTERキーで▶をDELAYの右横に移動して、INC/+、DEC/-キーでDELAYを設定します。

○設定範囲 0%~100%
 ○初期値 0%



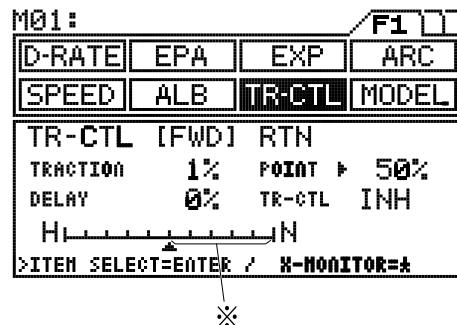
4) ポイントの設定(POINT)

ENTERキーで▶をPOINTの右横に移動して、INC/+、DEC/-キーでPOINTを設定します。

○設定範囲 5%～100%

○初期値 50%

*ニュートラル～ポイントまでがトラクションコントロールの動作範囲です。



※

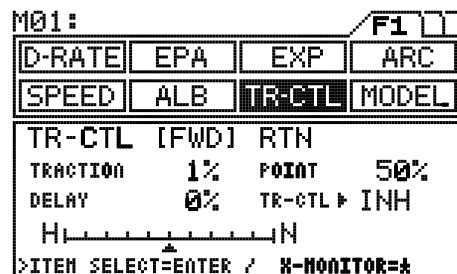
補足

- ポイント(POINT)はスロットルトリガーを操作した位置ではなく、動作出力位置のポイントです。ポイントを設定したあとにEPAやARCなどの設定を変更した場合にはポイントの位置が変化します。

5) TR-CTLのINH/ACTの設定

TR-CTLを有効にする場合はACTに、無効にする場合にはINHにします。

- ・ ENTERキーで▶をTR-CTLの右横に移動します。
- ・ INC/+、DEC/-キーでINH/ACTを設定します。

6) トラクションコントロールの[RTN]の調整は
[FWD]を参考にして設定してください。**重要**

- TRC-CTL INH/ACTについて
TRC-CTL INH/ACTの設定はメニュー上で切りかえる方法とは別に、キー アサインスイッチ機能で切りかえる方法があります。
この機能を使うと、どのメニューからでも操作可能になり、走行中にも設定したスイッチで、TRC-CTL機能のオン/オフが簡単にできるようになります。(P.49)

各機能の使用方法

モデル

MODEL

M01:	F1	□
D-RATE	EPA	EXP
SPEED	ALB	TR-CTL

●モデルセレクト[SELECT]、モデルネーム[NAME]、モデルコピー/モデルクリア[COPY/CLEAR]についての機能が設定できます。ディスプレイスイッチをONにして設定をおこなってください。

●大容量EEPROMを内蔵しており、M01～M30の30モデル分のデータを記憶することができます。

[SELECT] モデル・セレクト

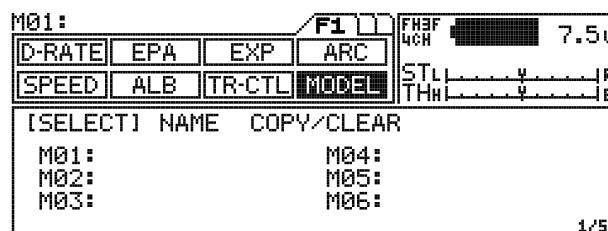
●記憶されているM01～M30のモデルを簡単に呼び出すことができます。

●呼び出す前のモデルは自動的に保存されるため、データを間違って消す心配がありません。

1) ファンクションセレクトキーにより、
MODEL[SELECT]にカーソルを
移動します。

2) INC/+またはDEC/-キーで呼び出
したいモデルを選択します。

○設定範囲 M01～M30



補足

- 選択した時点でモデルが切りかわります。
- INC/+とDEC/-キーの同時押しで、モデルM01→M07→M13→M19→M25→M01…
とページの頭出しができます。



注意 ●送信機のパワースイッチがONの状態では、モデル・セレクトの設定はおこなえません。
送信機のパワースイッチがOFFの状態で、ディスプレイスイッチをONにしてモデル・
セレクトをおこなってください。

[NAME] モデル・ネーム

●各モデルにアルファベット、数字、カナ、記号を12文字までモデル・ネームを登録できます。

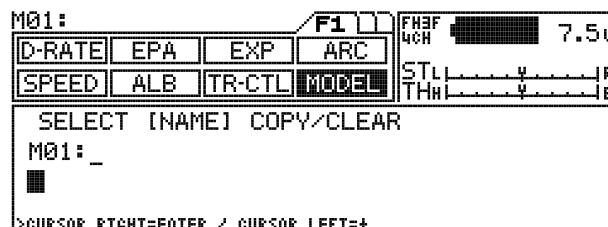
1) ファンクションセレクトキーにより、
MODEL[NAME]にカーソルを
移動します。

2) ★またはENTERキーでカーソル”_”
を文字入力する位置に移動します。

3) INC/+またはDEC/-キーで文字を
選択します。

○設定範囲 A～Z, a～z, 0～9,
0～9, ア～ン、、、
ア～ツ、記号、スペース

4) 2), 3) を繰りかえして入力します。



補足

- INC/+とDEC/-キーの同時押しで、A→a→O→o→ア→ア→!→スペース→A…と
グループの頭出しができます。
- スペースのところに文字を入力する場合、DEC/-キーから押すと、前文字グループの
先頭から選択できるようになります。同じグループの文字を入れる場合に便利です。

[COPY/CLEAR] モデル・コピー/モデル・クリア

- 選択しているモデルのデータを他のモデルへコピーしたり、選択しているモデルに他のモデルのデータをコピーします。
- 選択しているモデルのデータをクリア(初期化)します。

<モデルコピー>

- 1)ファンクションセレクトキーにより、MODEL [COPY/CLEAR]にカーソルを移動します。
- 2)選択しているモデルを他のモデルにコピーする場合は★キーで矢印の方向を▶にします。
他のモデルを選択しているモデルにコピーする場合は★キーで矢印の向きを◀にします。
- 3)INC/+またはDEC/-キーでコピー先または、コピー元のモデルを選択し、ENTERキーで決定します。
- 4)確認の画面が表示されますので、コピーしてもよければINC/+キーを、中止ならDEC/-キーを押します。
- 5)モデルコピーが実行されればEXECUTING！と表示し、コピーが完了します。

M01:	F1	FHF 4CH	7.5v
D-RATE	EPA	EXP	ARC
SPEED	ALB	TR-CTL	MODEL
SELECT NAME [COPY/CLEAR] <SLAVE>			
<MASTER>		M30:	
M01:		M02:	
		M03:	
>FIX=ENTER / MASTER CHANGE=a			
M01:			
F1			
FHF 4CH			
7.5v			
STL THL			
SELECT NAME [COPY/CLEAR] <MASTER>			
<SLAVE> ---:CLEAR			
M01:		M02:	
		M03:	
>FIX=ENTER / MASTER CHANGE=a			
M01:			
F1			
FHF 4CH			
7.5v			
STL THL			
MODEL COPY!			
<MASTER>		<SLAVE>	
M01:		M02:	
YES=<INC> NO=<DEC>			
>No=ENTER / No=a			

<モデルクリア>

- 1)ファンクションセレクトキーにより、MODEL [COPY/CLEAR]にカーソルを移動します。
- 2)★キーで矢印の方向を◀にします。
- 3)INC/+またはDEC/-キーでCLEARを選択し、ENTERキーで決定します。
※CLEARはM01とM30の間にあります。
INC/+とDEC/-キーの同時押しでもCLEARが選択されます。
- 4)確認の画面が表示されますので、モデルクリアしてもよければINC/+キーを、中止ならDEC/-キーを押します。
- 5)モデルクリアが実行されればEXECUTING！と表示し、クリアが完了します。

M01:	F1	FHF 4CH	7.5v
D-RATE	EPA	EXP	ARC
SPEED	ALB	TR-CTL	MODEL
SELECT NAME [COPY/CLEAR] <MASTER>			
<SLAVE>		M30:	
M01:		---:CLEAR	
		M03:	
>FIX=ENTER / MASTER CHANGE=a			
M01:			
F1			
FHF 4CH			
7.5v			
STL THL			
MODEL COPY!			
<MASTER>		<MASTER>	
M01:		---:CLEAR	
YES=<INC> NO=<DEC>			
>No=ENTER / No=a			



- 送信機のパワースイッチがONの状態では、モデル・コピー/クリアの設定はおこなえません。
送信機のパワースイッチがOFFの状態で、ディスプレイスイッチをONにしてモデル・コピー/クリアをおこなってください。

各機能の使用方法

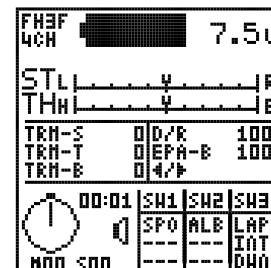
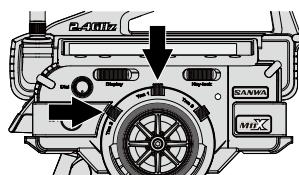
サブトリム

SUB-T

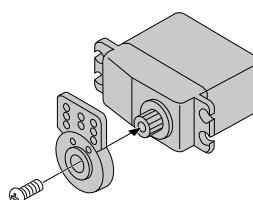
M01:	F2
SUB-T	TIMER
TH-HLD	REV
BR-MIX	S-POS
C-MIX	
SERVO	

- ステアリング/スロットルのトリムニュートラルを補正し、メイントリムはセンター位置から使えるようにします。
リンクージ調整をおこなうとき、このサブトリムで確実にニュートラルを出してください。
- 4CH時のブレーキ側サブトリムにも対応しており、3CH、4CHべつべつに設定可能です。

- 1) リンケージをする前に、各メイントリムをセンター(0)にしてください。



- 2) サーボホーン(サーボセーバーホーン)をサーボ本体のいちばんセンター位置に近いところに取り付けます。



- 3) ファンクションセレクトキーにより、SUB-T[ST]にカーソルを移動します。

- 4) INC/+またはDEC/-キーでサブトリムを調整し、ニュートラルを出します。

- 設定範囲 100L~100R
○ 初期値 0

- 5) 他のチャンネルも同じように調整します。

M01:	F2
SUB-T	TIMER
TH-HLD	REV
BR-MIX	S-POS
C-MIX	
SERVO	

SUB TRIM

[ST]	TH	3CH	4CH
0	0	0	0

>SH-MONITOR=&

注意

- できるだけサーボ側でニュートラルを出してください。
サブトリムとメイントリムの設定が片側によってしまうと、操作してもデッド(サーボが動作しない領域)が出ることがあります。

重要

● トリムとサブトリムについて

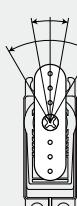
トリムとは、サーボのニュートラル位置を調整する機能です。ステアリングサーボを車体に搭載後、走行させて直進しない場合にステアリングのメイントリムを調整します。

また、エンジンRCカーでのキャブレターのニュートラル位置はサーボ搭載後にリンクージ調整と共にスロットルサーボのニュートラル調整(サブトリム)をする必要があります。

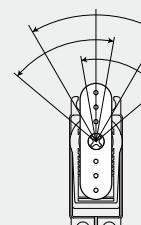
ニュートラル位置の調整は、サーボ搭載後におこなうだけでなく、タイヤの磨耗やシャシーのねじれなど走行中の変化に対応するために必要になります。

M11Xのメイントリムには、動作角の端はそのままニュートラル位置だけを調整するトリム(センタートリム)と動作角の端とニュートラル位置と一緒に動かすトリム(パラレルトリム)の2種類をキーアサイントリムの機能で選択できます。(P.50)

サーボホーンを固定する前にサーボのニュートラル位置を調整するサブトリムはパラレルトリムです。



○センタートリム
トリムでニュートラル位置を移動しても動作角の端は動きません。



○パラレルトリム
トリムでニュートラル位置を移動すると動作角の端も一緒に移動します。

タイマー

TIMER

M01:	F2			
SUB-T	TIMER	REV	S-POS	
TH-HLD	BR-MIX	C-MIX	SERVO	

- ラップ、インターバル、ダウン(アップ)の3つのタイマーを備えており、同時に動作させることができます。
- キーアサインスイッチで同時または別々に操作できるため、自由度があり非常に便利です。
- バイブレータを搭載しており、音との連動または単独動作が可能です。
- 他メニューからでも動作状態が確認できます。(常時表示画面)

[LAP] ラップ・タイマー

- 99周までの各ラップ計測、記録ができます。(モデル共通)
- プリアラーム(PRE-ALM)を搭載しており、ゴール前に鳴るアラームの時間を自由に設定できます。
- ベストラップ(BEST)、平均ラップ(AVE)、トータル(TOTAL)がリアルタイムで表示されます。

1)ファンクションセレクトキーにより、TIMER[LAP]にカーソルを移動します。

2)ラップ・タイマーのON/OFFの設定
▶がLAPの下にあることを確認し、INC/+またはDEC/-キーを押してONにします。

3)ゴールタイム(GOAL)の設定
ENTERキーで▶をGOALの左横に移動してINC/+またはDEC/-キーでゴールタイムを設定します。

- 設定範囲 00' 10" ~60' 00
10" 単位
- 初期値 60' 00

4)プリアラーム(PRE-ALM)の設定
ENTERキーで▶をPRE-ALMの左横に移動してINC/+またはDEC/-キーで設定します。

- 設定範囲 OFF, 1S~20S
- 初期値 5S

※プリアラームとは設定したゴールタイムの何秒前からアラームを鳴らすかの機能です。

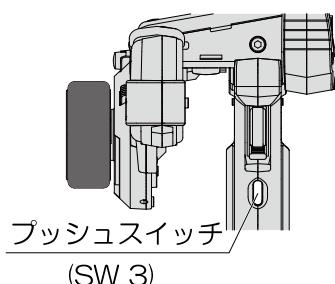
5)ラップ・タイマーのスイッチは初期値でSW3に設定されています。SW3を押すと計測がスタートします。

6)SW3を押すたびに、ラップタイムが計測されます。
スタートしてから3秒間はスイッチは働きません。

M01:	F2			
SUB-T	TIMER	REV	S-POS	
TH-HLD	BR-MIX	C-MIX	SERVO	
LAP	INT	DOWN		
ON	► GOAL	60' 00	P <small>E</small> -ALM:	5S
BEST	DL	00" 00	A <small>V</small> E	00" 00
TOTAL	DL	00' 00" 00		
>ITEM SELECT=ENTER / LAP TIME=&				

M01:	F2			
SUB-T	TIMER	REV	S-POS	
TH-HLD	BR-MIX	C-MIX	SERVO	
LAP	INT	DOWN		
ON	► GOAL	60' 00	P <small>E</small> -ALM:	5S
BEST	DL	00" 00	A <small>V</small> E	00" 00
TOTAL	DL	00' 00" 00		
>ITEM SELECT=ENTER / LAP TIME=&				

M01:	F2			
SUB-T	TIMER	REV	S-POS	
TH-HLD	BR-MIX	C-MIX	SERVO	
LAP	INT	DOWN		
ON	► GOAL	60' 00	P <small>E</small> -ALM:	5S
BEST	DL	00" 00	A <small>V</small> E	00" 00
TOTAL	DL	00' 00" 00		
>ITEM SELECT=ENTER / LAP TIME=&				



重要

●タイマースイッチについて

タイマースイッチはキーアサインスイッチ機能で他のスイッチに自由に割り当てることができます。お好みの位置に設定してください。(P.49)

各機能の使用方法

タイマー

TIMER

M01:	F2
SUB-T	TIMER
TH-HLD	REV
BR-MIX	S-POS
C-MIX	SERVO

[LAP] ラップ・タイマー

7) 計測終了

計測終了は3種類の方法があります。

- ・ゴールタイムに達したあとにタイマーのスイッチを押した場合。
- ・ラップ・タイムのメニュー時にINC/+とDEC/-キーを同時押し。
- ・タイマーのスイッチを3秒間押し続けた場合。

M01:	F2
SUB-T	TIMER
TH-HLD	REV
BR-MIX	S-POS
C-MIX	SERVO

[LAP] INT DOWN
OFF 00' 00" 00
04' 28" 22
>ITEM SELECT=ENTER / SH-MONITOR=*

8) 計測結果の確認

タイマーが停止している状態で、TIMER[LAP]メニューで

★キーにより確認できます。

画面には9周分表示され、INC/+またはDEC/-キーで改ページできます。

INC/+とDEC/-の同時押しで1~9周目が表示されます。

M01:	F2	FHF	7.5v
SUB-T	TIMER	REV	S-POS
TH-HLD	BR-MIX	C-MIX	SERVO
LAP TIME			
01-00'06"32 04-00'07"94 07-00'06"92 INC 02-00'09"04 05-00'07"04 08-00'07"22 DEC 03-00'08"08 06-00'06"66 09-00'06"80 ▶ >RETURN=*			

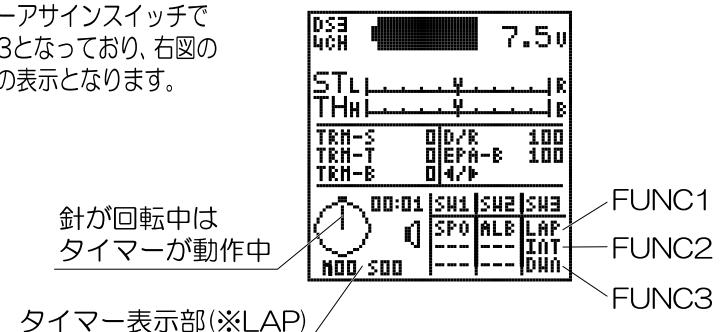
M01:	F2	FHF	7.5v
SUB-T	TIMER	REV	S-POS
TH-HLD	BR-MIX	C-MIX	SERVO
LAP TIME			
91-00'06"32 94-00'07"94 97-00'06"92 INC 92-00'09"04 95-00'07"04 98-00'07"22 DEC 93-00'08"08 96-00'06"66 99-00'06"80 ▶ >RETURN=*			

9) 常時表示画面

タイマーの状態は常時表示画面に表示されており、

他メニューからでも確認できます。

※タイマー表示部に表示される優先順位は、キーアサインスイッチで設定されているFUNC1>FUNC2>FUNC3となっており、右図の例の場合は、FUNC1に設定されているLAPの表示となります。



- 一度計測をスタートすると、前回計測のLAPはクリアされます。またラップクリアだけの機能はありません。
- 計測を終了すると、タイマーの機能がOFFになります。再度スタートするには、2)の手順でタイマー機能をONにしてください。

[INT] インターバル・タイマー

- 走行時に設定したタイムをアラームで知らせ、目標タイムの目安とします。
- 2種類のインターバル・タイマーを持っており、同時に動作可能です。アラーム音も別々に設定できます。

1)ファンクションセレクトキーにより、TIMER[INT]にカーソルを移動します。

2)インターバル・タイマーのON/OFFの設定
▶がLAPの下にあることを確認し、INC/+またはDEC/-キーを押してONにします。

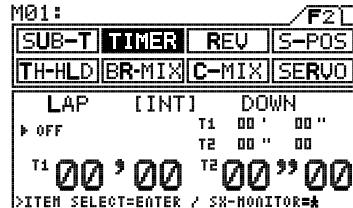
3)インターバル・タイマー(T1)の設定

ENTERキーで▶をT1の右横に移動してINC/+またはDEC/-キーで設定します。
ENTERキーで設定する項目を移動します。

○設定範囲 (T1) 00' 01" ~99' 59"

○初期値 00' 00"

※00' 00" では、インターバル・タイマー(T1)は動作しません。



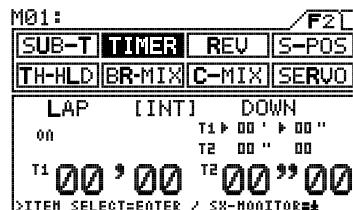
4)インターバル・タイマー(T2)の設定

ENTERキーで▶をT2の右横に移動してINC/+またはDEC/-キーで設定します。
ENTERキーで設定する項目を移動します。

○設定範囲 (T2) 00" 10 ~59" 90

○初期値 00" 00

※00" 00 では、インターバル・タイマー(T2)は動作しません。



5)インターバル・タイマーのスイッチは初期値でSW3に設定されています。SW3を押すと計測がスタートします。

6)SW3を押すと、インターバル・タイマーがリセットされて再計測になります。

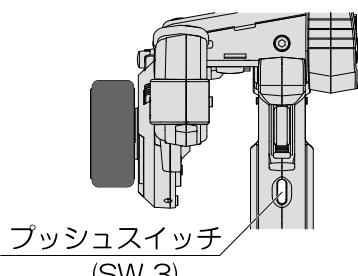
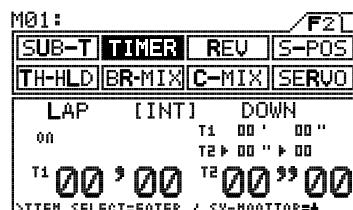
7)計測終了

計測の終了は2種類の方法があります。

- ・インターバル・タイマーのメニュー時にINC/+とDEC/-キーを同時に押し。
- ・タイマーのスイッチを3秒間押し続けた場合。

8)常時表示画面

ラップ・タイマーの9)を参照してください。



- 計測を終了すると、タイマーの機能がOFFになります。

再度スタートするには、2)の手順で機能をONにしてください。

- タイマースイッチについて

タイマースイッチは、キーアサインスイッチ機能で他のスイッチに自由に割り当てることができます。お好みの位置に設定してください。(P.49)

各機能の使用方法



[DOWN] ダウン・タイマー

- 電動RCカーの走行時間やエンジンRCカーでの燃費計算の目安になります。
- 99' 59" 90まで1/10秒単位で設定できます。
- ダウン・タイマー終了後、アップ・タイマーに切りかわり、終了後の経過時間が確認できます。
(1分毎のアラームあり)

1)ファンクションセレクトキーにより、TIMER[DOWN]にカーソルを移動します。

2)ダウン・タイマーのON/OFFの設定
▶がLAP表示の下にあることを確認し、INC/+またはDEC/-キーでONにします。

3)ダウン・タイマー(分)の設定
ENTERキーで▶を00' の左横に移動してINC/+またはDEC/-キーで設定します。

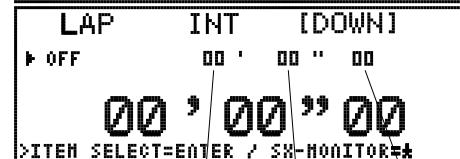
○設定範囲 00' ~99' 1' 単位(1分単位)
○初期値 00'

4)ダウン・タイマー(秒)の設定
ENTERキーで▶を00" の左横に移動してINC/+またはDEC/-キーで設定します。

○設定範囲 00" ~59" 1" 単位(1秒単位)
○初期値 00"

5)ダウン・タイマー(1/10秒)の設定
ENTERキーで▶を00の左横に移動してINC/+またはDEC/-キーで設定します。

○設定範囲 00~90 1/10秒単位
○初期値 00
※00' 00" 00では、ダウン・タイマーは動作しません。



分 秒 1/10秒

6) ダウン・タイマーのスイッチは初期値でSW3に設定されています。
SW3を押すと計測がスタートします。

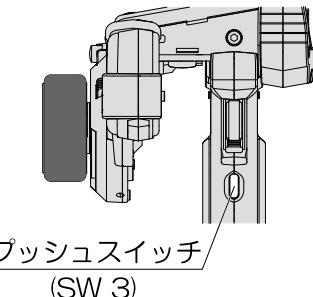
7) ダウン・タイマー動作中にSW3を押すと、ダウン・タイマーがリセットされ、設定値から再スタートします。

8) 計測終了

- 計測の終了は、2種類の方法があります。
- ・ダウン・タイマーのメニュー時にINC/+とDEC/-キーを同時押し。
- ・タイマーのスイッチを3秒間押し続けた場合。

9) 常時表示画面

ラップ・タイマーの9)を参照してください。(P.31)



注意

- 計測を終了すると、タイマーの機能がOFFになります。
再度スタートするには、2)の手順で機能をONにしてください。
- タイマースイッチについて
タイマースイッチは、キーアサイン機能で他のスイッチに自由に割り当てることができます。
お好みの位置に設定してください。(P.49)

サーボリバース

REV

M01:

SUB-T	TIMER	REV	S-POS
TH-HLD	BR-MIX	C-MIX	SERVO

F2

- サーボの動作方向を切りかえる機能で、ステアリングホイール、スロットルトリガー等の操作方向と車体側の動作が逆の場合に使用します。

- 4CHすべて設定することができます。

1) ファンクションセレクトキーにより、REV[ST]にカーソルを移動します。

2) INC/+またはDEC/-キーでサーボの動作方向を合わせてください。

- 設定範囲 NOR/REV
- 初期値 NOR

3) 他のチャンネルを設定する場合は、ファンクションセレクトキーで設定するチャンネルを選択して、INC/+、DEC/-キーで調整します。

M01:

SUB-T	TIMER	REV	S-POS
TH-HLD	BR-MIX	C-MIX	SERVO

F2

REVERSE

[1ST]	TH	3ch	4ch
NOR	NOR	NOR	NOR

>SH-MONITOR=&



- サーボリバースでサーボの動作方向を変更した場合、サーボのニュートラル位置が変わることがあります。その場合はサブトリムで再度ニュートラル調整をしてください。(P.29)

各機能の使用方法

スターティングポジション

S-POS

M01:	F2
SUB-T	TIMER
TH-HLD	REV
BR-MIX	S-POS
C-MIX	SERVO

- エンジンRCカーのエンジン始動時にアイドリングを少し上げることで、エンジンの始動性が向上します。
- 3CH、4CHでブレーキを使用している場合、トリガー操作に関係なく一定のブレーキをかけて、安全にエンジンを始動することができます。
- オフセットの機能で様々なパワーソースに対応できます。
- S-POSスイッチがONの時に機能が働きます。

1) ファンクションセレクトキーにより、S-POSにカーソルを移動します。

2) S-POSの設定

▶がS-POS表示の右横にあることを確認して、INC/+またはDEC/-キーで設定します。

○設定範囲 -100%~100%

○初期値 0%

3) アラームの設定

ENTERキーで▶をALARMの右横に移動して、INC/+またはDEC/-キーで設定します。

○設定範囲 ON/OFF

○初期値 ON

4) オフセットの設定

ENTERキーで▶をOFFSETの右横に移動して、INC/+またはDEC/-キーで設定します。

○設定範囲 INH/NEUT/BR

○初期値 INH

・オフセット量の設定

ENTERキーで▶をS-POSの右横に移動して、INC/+またはDEC/-キーで設定します。

5) ブレーキ・ロックの設定

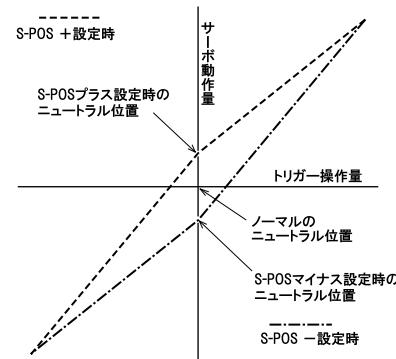
- ・ENTERキーで▶をOFFSETの右横に移動して、INC/+またはDEC/-キーでBRの設定にします。
- ・ENTERキーで▶をBRAKE-POINTの右横に移動して、INC/+またはDEC/-キーでブレーキの位置を設定します。

○設定範囲 0~100%

○初期値 0%

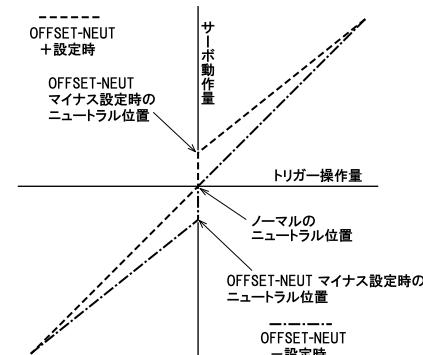
※4CH選択時にOFFSETがBRの設定時に有効になり、S-POSスイッチがONの時、トリガー操作にかかわらずブレーキCHが設定した値で固定されます。

※2CH選択時にはブレーキ・ロックの設定はおこなえません。



M01:	F2
SUB-T	TIMER
TH-HLD	REV
BR-MIX	S-POS
C-MIX	SERVO

STARTING POSITION
S-POS ▶ 0% OFFSET INH
ALARM ON H N B
>ITEM SELECT=ENTER / SX-MONITOR=*



M01:	F2
SUB-T	TIMER
TH-HLD	REV
BR-MIX	S-POS
C-MIX	SERVO

STARTING POSITION
S-POS 0% OFFSET ▶ BR
ALARM ON H BRAKE-POINT N B 0%
>ITEM SELECT=ENTER / SX-MONITOR=*

重要

●S-POSスイッチについて

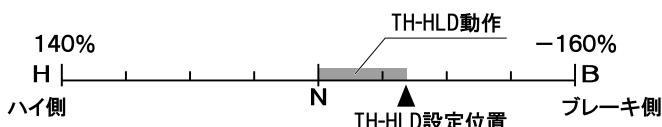
S-POSスイッチは、キーアシンスイッチ機能で他のスイッチに自由に割り当てることができます。お好みの位置に設定してください。(P.49)

スロットルホールド

TH-HLD

M01:	F2			
SUB-T	TIMER	REV	S-POS	
TH-HLD	BR-MIX	C-MIX	SERVO	

- RCポート等のエンジンを設定したスイッチのワンプッシュで止めることができます。
- 走行時、緊急のブレーキに使用できます。(スイッチを押している間、トリガー操作を受けつけません。)
- エンジンRCカーの給油時に、エンジンが止まらないようにアイドリングを上げた位置に固定できます。



1) キーアシンスイッチでTH-HLDをお好みのスイッチ位置に割り当てます。(P.49)

※TH-HLDはスイッチを押している間だけ働きます。

2) ファンクションセレクトキーにより、TH-HLDにカーソルを移動します。

3) ▶が設定値の左横にあることを確認し、INC/+またはDEC/-キーで設定します。

○設定範囲 -160%~140%

○初期値 0%

※TH-HLDがONの時は、操作位置に関係なく設定したサーボ位置に固定されます。

4) TH-HLD INH/ACTの設定

ENTERキーで▶をTH-HLDの右横に移動して、INC/+またはDEC/-キーで設定します。

※通常この機能はINHで使用します。ACTにした場合は設定したスイッチを押すとHOLDが解除されます。

5) HOLD-3CHの設定

ENTERキーで▶をHOLD-3CHの右横に移動して、INC/+またはDEC/-キーで設定します。

※3CH-BRAKE ACTの時に有効です。
(BR-MIX P.37参照)

6) HOLD-4CHの設定

ENTERキーで▶をHOLD-4CHの右横に移動して、INC/+またはDEC/-キーで設定します。

※4CH選択時に有効です。

M01:	F2			
SUB-T	TIMER	REV	S-POS	
TH-HLD	BR-MIX	C-MIX	SERVO	

THROTTLE-HOLD
▶ 0% HOLD 3CH ON
TH-HLD INH N 4CH ON
H N B
>ITEM SELECT=ENTER / SX-MONITOR=*

M01:	F2			
SUB-T	TIMER	REV	S-POS	
TH-HLD	BR-MIX	C-MIX	SERVO	

THROTTLE-HOLD
▶ 0% HOLD 3CH ON
TH-HLD INH N 4CH ON
H N B
>ITEM SELECT=ENTER / SX-MONITOR=*

M01:	F2			
SUB-T	TIMER	REV	S-POS	
TH-HLD	BR-MIX	C-MIX	SERVO	

THROTTLE-HOLD
▶ 0% HOLD 3CH ON
TH-HLD INH N 4CH ON
H N B
>ITEM SELECT=ENTER / SX-MONITOR=*

M01:	F2			
SUB-T	TIMER	REV	S-POS	
TH-HLD	BR-MIX	C-MIX	SERVO	

THROTTLE-HOLD
▶ 0% HOLD 3CH ON
TH-HLD INH N 4CH ON
H N B
>ITEM SELECT=ENTER / SX-MONITOR=*

各機能の使用方法

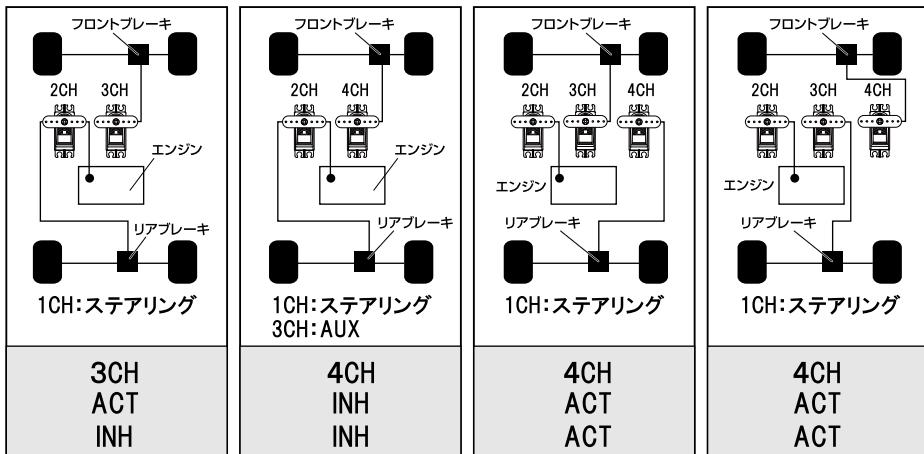
ブレーキミキシング

BR-MIX

M01:	F2			
SUB-T	TIMER	REV	S-POS	
TH-HLD	BR-MIX	C-MIX	SERVO	

- 1/5スケールのエンジンRCカーで前後のブレーキに2サーボを使用する等のミキシング機能です。
- チャンネル別にREV, EPA, SUB-T, SPEEDが設定でき、各種の調整に柔軟に対応できます。
- スロットルトリムとは別に、ブレーキトリムがあり、個別に操作できます。
- スロットルチャンネル(2CH)のブレーキ側を使用しない場合、ブレーキ側の動作を止めることができます。
(TH-BRAKE CUT機能)

●各種設定について



※他にも対応可能なタイプも存在します。

1)ファンクションセレクトキーにより、BR-MIXにカーソルを移動します。

2)DERAYの設定

< 2CH >

▶がDERAY-2CH表示の右横にあることを確認し、INC/+またはDEC/-キーで設定します。

< 3CH >

ENTERキーで▶をDERAY-3CHの右横に移動して、INC/+またはDEC/キーで設定します。

< 4CH >

ENTERキーで▶をDERAY-4CHの右横に移動して、INC/+またはDEC/キーで設定します。

M01:	F2			
SUB-T	TIMER	REV	S-POS	
TH-HLD	BR-MIX	C-MIX	SERVO	

BRAKE-MIXING	F2			
DELAY-2CH ▶ 0%	3CH-BRAKE	ACT		
-3CH 0%	TH-BRAKE CUT	INH		
4CH 0%				
>ITEM SELECT=ENTER / SX-MONITOR=*				

M01:	F2			
SUB-T	TIMER	REV	S-POS	
TH-HLD	BR-MIX	C-MIX	SERVO	

BRAKE-MIXING	F2			
DELAY-2CH 0%	3CH-BRAKE	ACT		
-3CH ▶ 0%	TH-BRAKE CUT	INH		
4CH 0%				
>ITEM SELECT=ENTER / SX-MONITOR=*				

M01:	F2			
SUB-T	TIMER	REV	S-POS	
TH-HLD	BR-MIX	C-MIX	SERVO	

BRAKE-MIXING	F2			
DELAY-2CH 0%	3CH-BRAKE	ACT		
-3CH 0%	TH-BRAKE CUT	INH		
4CH ▶ 0%				
>ITEM SELECT=ENTER / SX-MONITOR=*				

3) 3CH-BRAKEのINH/ACTの設定

ENTERキーで▶を3CH-BRAKEの右横に移動して、INC/+またはDEC/-キーで設定します。

※3CH目をブレーキとAUXのどちらに設定するかの選択です。ACTでブレーキチャンネルになります。

M01:

SUB-T	TIMER	REV	S-POS
TH-HLD	BR-MIX	C-MIX	SERVO

BRAKE-MIXING			
DELAY	2CH	0%	3CH-BRAKE → ACT
	3CH	0%	TH-BRAKE CUT INH
	4CH	0%	

>ITEM SELECT=ENTER / SX-MONITOR=*

4) TH-BRAKE CUTのINH/ACTの設定

ENTERキーで▶をTH-BRAKE CUTの右横に移動して、INC/+またはDEC/-キーで設定します。

※THチャンネル(2CH)でブレーキを使用しない場合、TH-BRAKE CUTの設定をACTにすると2CHのブレーキ側は動作しなくなり、リンクエージが容易になります。また、THチャンネル(2CH)でブレーキを使用するタイプと比較すると、サーボ動作のタイムラグもなくなります。

M01:

SUB-T	TIMER	REV	S-POS
TH-HLD	BR-MIX	C-MIX	SERVO

BRAKE-MIXING			
DELAY	2CH	0%	3CH-BRAKE ACT
	3CH	0%	TH-BRAKE CUT INH
	4CH	0%	

>ITEM SELECT=ENTER / SX-MONITOR=*

重要

- 2CH選択時にはTH-BRAKE CUTの機能を使用しないでください。
- セットアップメニュー(SET-UP)で4CHを選択してから設定してください。
2CHで使用すると、設定メニューが一部しか出てきません。(DS2設定時)
- 4CH選択(SET-UP)、3CH-BRAKE設定は、車体のリンクエージをする前におこなってください。(REV、EPA、SUB-T調整の前におこなってください。)

各機能の使用方法

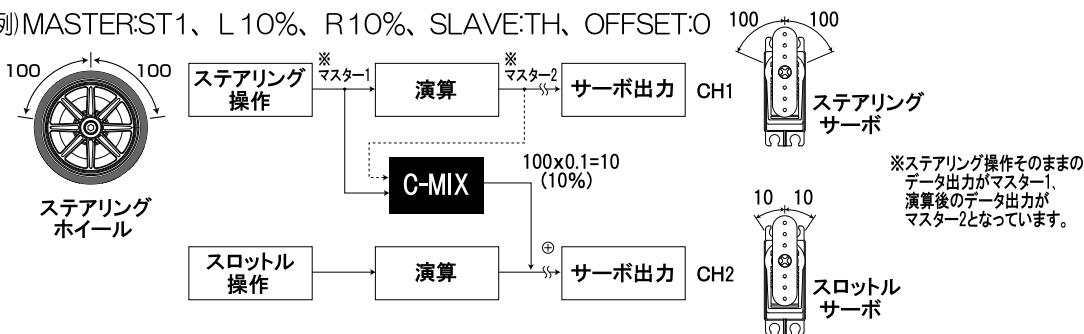
コンペンセーションミキシング

C-MIX

M01:	F2			
SUB-T	TIMER	REV	S-POS	
TH-HLD	BR-MIX	C-MIX	SERVO	

- 各チャンネル間のミキシング、チャンネル自身へのミキシングができます。
- マスター・チャンネルは、直データまたは演算とトリムを含んだデータのどちらかを選択できます。
- C-MIXは2系統あり、同時に動作可能です。
- オフセット機能を持ち、マスターミキシングの基点を移動することができます。
- 走行中にC-MIXのON/OFFが簡単にできます。(キーアサインスイッチ機能 P.49)
- グラフ表示でわかりやすく設定できます。

例)MASTER:ST1、L 10%、R 10%、SLAVE:TH、OFFSET:0



補足

通常ステアリングの制御は、ステアリング操作→演算→サーボ出力(CH1)です。C-MIXの機能は上図のようにステアリングを100動かすと、CH1のサーボが100動くと同時に、ステアリング操作の10%(10)、CH2のサーボを動作させるものです。その時のステアリング(CH1)をマスター(MASTER)といい、10%動作させるCH2をスレーブ(SLAVE)といいます。

1)ファンクションセレクトキーにより、C-MIXにカーソルを移動します。

2)▶がMASTERの右横にあることを確認し、INC/+またはDEC/-キーでマスターCHを設定します。

M01:	F2			
SUB-T	TIMER	REV	S-POS	
TH-HLD	BR-MIX	C-MIX	SERVO	
[C-MIX1] C-MIX2				
MASTER ST1	SLAVE TH			
L 0%	OFFSET 0			
R 0%	C-MIX INH			
>ITEM SELECT=ENTER / GRAPH=&				

設定値	名 称	マスター出力データ内容
·ST1	ステアリングマスター1	ステアリング動作だけ
·ST2	ステアリングマスター2	ステアリングにD/R,EPA,EXP,ARC,SPEED,トリム(サブトリム含む)演算を含んだ動作
·TH1	スロットルマスター1	スロットル動作だけ
·TH2	スロットルマスター2	スロットルにEPA,EXP,ARC,SPEED,TR-CTL,S-POS,BR-MIX,トリム(サブトリム含む)演算を含んだ動作
·AUX1 *	AUXマスター1	AUX動作だけ
·AUX2 *	AUXマスター2	AUXにEPA演算を含んだ動作

※2CH選択時、3CH-BRAKE ACT時(4CH選択時)には設定できません。

3)ミキシング量の設定

<Left/High>

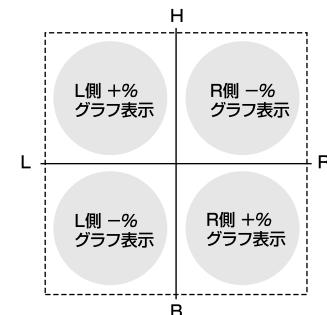
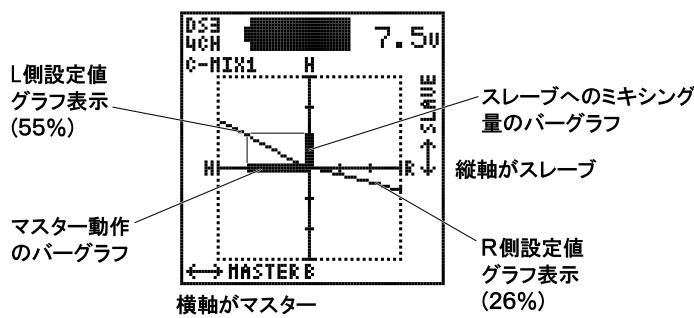
ENTERキーで▶をL(H)の右横に移動して、INC/+またはDEC/-キーで設定します。

<Right/Brake/Low>

ENTERキーで▶をR(B/L)の右横に移動して、INC/+またはDEC/-キーで設定します。

M01:

SUB-T	TIMER	REV	S-POS
TH-HLD	BR-MIX	C-MIX	SERVO
[C-MIX1] C-MIX2			
MASTER ST1 SLAVE TH			
< L 55% OFFSET 0 >			
R 26% C-MIX INH			
>ITEM SELECT=ENTER / GRAPH=*			



★キーを押すと、常時表示画面にグラフが表示されます。

4)スレーブCH(SLAVE)の設定

ENTERキーで▶をSLAVEの右横に移動して、INC/+またはDEC/-キーで設定します。

○設定範囲 ST, TH, AUX, BR

※AUX設定は、3CH-BRAKE INH/ACTにかかわらず、3CH目のスレーブとなります。

M01:

SUB-T	TIMER	REV	S-POS
TH-HLD	BR-MIX	C-MIX	SERVO
[C-MIX1] C-MIX2			
MASTER ST1 SLAVE ▶ TH			
< L 55% OFFSET 0 >			
R 26% C-MIX INH			
>ITEM SELECT=ENTER / GRAPH=*			

5)オフセット量(OFFSET)の設定

ENTERキーで▶をOFFSETの右横に移動して、INC/+またはDEC/-キーで設定します。

M01:

SUB-T	TIMER	REV	S-POS
TH-HLD	BR-MIX	C-MIX	SERVO
[C-MIX1] C-MIX2			
MASTER ST1 SLAVE TH			
< L 55% OFFSET -18 >			
R 26% C-MIX INH			
>ITEM SELECT=ENTER / GRAPH=*			

各機能の使用方法

コンペンセーションミキシング

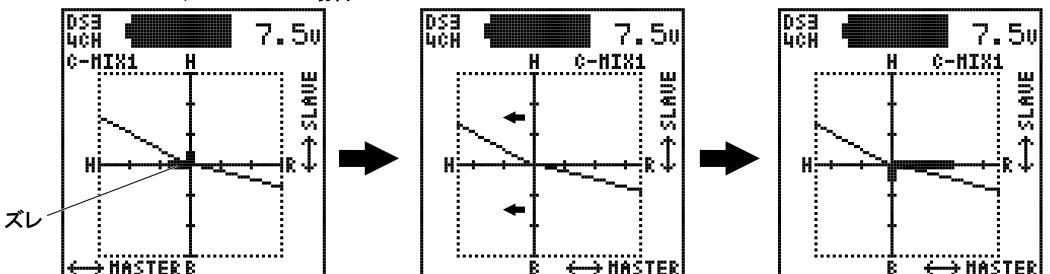
C-MIX

M01:	F2
SUB-T	TIMER
TH-HLD	REV
BR-MIX	S-POS
C-MIX	SERVO

オフセット機能の使い方

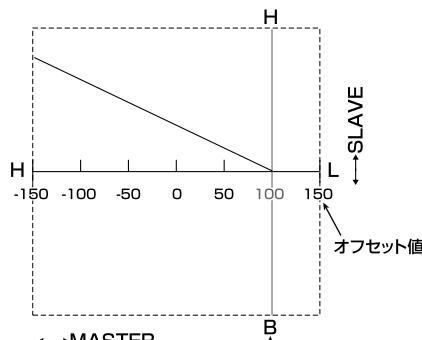
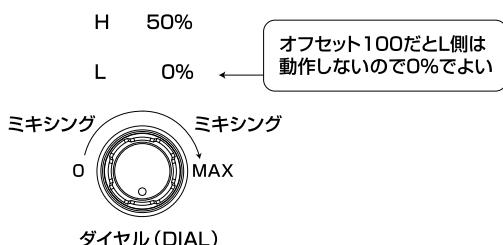
- ①マスター2の時にトリムのずれをOFFSETで補正する方法

MASTER ST2、SLAVE THの場合



- ②マスターのミキシングの基点を変える場合にダイヤル(AUX)等で左に一杯廻した時にミキシングがかからずに、右に一杯廻した時にミキシングを最大にする場合

●MASTER:AUX1、OFFSET:100



重要

●C-MIXについて

C-MIXはC-MIX1とC-MIX2の2系統あり、同時に使用することができます。

●C-MIX INH/ACTについて

C-MIX INH/ACTの設定は、メニュー上で切りかえる方法とは別に、キーアサインスイッチ機能で切りかえる方法があります。この機能を使うと、どのメニューからでも操作可能になります。走行中でも設定したスイッチで機能のON/OFFの切りかえを簡単におこなえます。(P.49)

補足

●スレーブとマスターを同じチャンネルにすると、自分自身にミキシングがかかり、プラス側にすると舵角が広がり、マイナス側にすると狭くなります。

走行中にスイッチで切りかえてフィーリングを変えることにより、セッティングとして使うことができます。

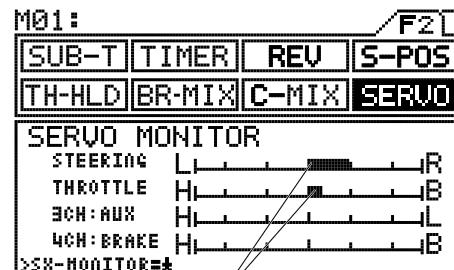
サーボモニター

SERVO

M01:	F2			
SUB-T	TIMER	REV	S-POS	
TH-HLD	BR-MIX	C-MIX	SERVO	

- 各チャンネルの出力動作がバーグラフで表示され、仮想的にサーボの動きが確認できます。
- 各機能の設定時に利用すると、調整の状態がわかりやすくなります。
- 常時表示画面に表示することができ、各機能の設定画面と同時に見ることができます。
(一部表示できないメニュー画面もあります。)

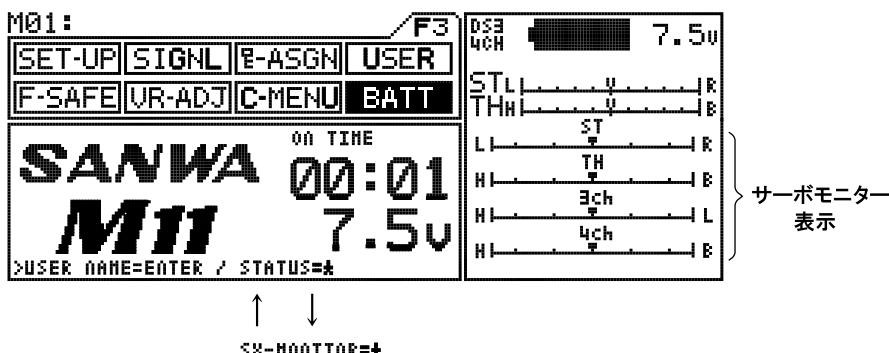
1)ファンクションセレクトキーにより、SERVOにカーソルを移動します。



バーグラフ表示

2)常時表示画面の呼び出し方法

各メニューで、★キーを押して呼び出します。
再度押すと通常の常時表示画面に戻ります。



3)呼び出し可能なメニュー

F1	F2	F3
①D-RATE	①SUB-T	①F-SAFE ≈2
②EPA	②TIMER ≈1	②VR-ADJ
③EXP	③REV	③BATT
④ARC	④S-POS	≈2[B-FAIL_SAFE]のみ
⑤SPEED	⑤TH-HLD	呼び出し可能。
⑥ALB	⑥BR-MIX	
⑦TR-CTL	⑦SERVO	≈1[LAP]からは 呼び出せません。

補足

- サーボモニターには、REVは反映されません。

各機能の使用方法

セットアップ

SET-UP

[SYSTEM]

- SET-UPの[SYSTEM]でLCD(液晶)のコントラスト(濃淡)調整、バイブレータのON/OFF、オープニングロゴのON/OFF、バックライト色の選択、バックライトの点灯モードを設定します。

1) ファンクションセレクトキーにより、SET-UPにカーソルを移動します。

2)[SYSTEM] コントラスト(CONTRAST)の調整
ENTERまたは★キーで▶をCONTRAST表示の右横に移動して、INC/+またはDEC/-キーでLCDコントラスト(濃淡)を調整します。

- 設定範囲 0%~100%
- 初期値 80%

M01:	F3
SET-UP	SIGNAL
F-SAFE	VR-ADJ

M01:	F3
SET-UP	SIGNAL
F-SAFE	VR-ADJ
C-MENU	BATT

[SYSTEM] MOD BIND

1: CONTRAST ▶ 80%

2: VIBRATOR INH

3: OP LOGO ACT

>ITEM SELECT NEXT=ENTER / BACK=▲

3)[SYSTEM] バイブレータ(VIBRATOR)のINH/ACTの設定
ENTERキーまたは★キーで▶をVIBRATOR表示の右横に移動して、INC/+、DEC/-キーでバイブレータのINH/ACTを設定します。

※ACTにすると、タイマー、タイマーアラーム、バッテリー
アラーム、送信機電源投入時にバイブレータが振動します。

- 初期値 INH

M01:	F3
SET-UP	SIGNAL
F-SAFE	VR-ADJ

[SYSTEM]	MOD	BIND
1:	CONTRAST	80%
2:	VIBRATOR	▶ INH
3:	OP LOGO	ACT
>ITEM	SELECT	NEXT=ENTER / BACK=▲

4)[SYSTEM] オープニングロゴ(OP LOGO)の設定
ENTERキーまたは★キーで▶をOP LOGO表示の右横に移動して、INC/+、DEC/-キーでオープニングロゴのINH/ACTを設定します。

※INHにすると、電源投入時にオープニングロゴが流れません。

- 初期値 ACT

M01:	F3
SET-UP	SIGNAL
F-SAFE	VR-ADJ

[SYSTEM]	MOD	BIND
1:	CONTRAST	80%
2:	VIBRATOR	INH
3:	OP LOGO	▶ ACT
>ITEM	SELECT	NEXT=ENTER / BACK=▲

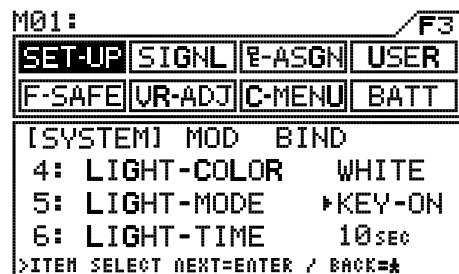
5) [SYSTEM] ライトカラー(LIGHT-COLOR)の設定
ENTERキーまたは★キーで▶をLIGHT-COLOR表示の右横に移動して、INC/+またはDEC/-キーでバックライトの色を設定します。

- WHITE 白色バックライト
- BLUE 青色バックライト
- 初期値 WHITE



6) [SYSTEM] ライトモード(LIGHT-MODE)の設定
ENTERキーまたは★キーで▶をLIGHT-MODE表示の右横に移動して、INC/+またはDEC/-キーでバックライト点灯の設定をします。

- KEY-ON LIGHT-TIMEで設定した時間内にキー操作がないとバックライトが消灯します。
- ALWAYS 常にバックライトが点灯します。
- OFF バックライトが消灯します。
- 初期値 KEY-ON



7) [SYSTEM] ライトタイム(LIGHT-TIME)の設定
ENTERキーまたは★キーで▶をLIGHT-TIME表示の右横に移動して、INC/+またはDEC/-キーで設定します。
※LIGHT-MODEでKEY-ONに設定していないとライトタイムの設定はできません。

- 設定範囲 1sec~30sec
- 初期値 10sec



各機能の使用方法

セットアップ

SET-UP

[MOD]

- SET-UPの[MOD]でお使いになる受信機にあわせた出力方式の選択や、使用するサーボ(アナログ/デジタル)やFETスピードコントローラーに合わせてモードの調整をおこないます。

注)送信機のパワースイッチがOFFの状態で、ディスプレイスイッチをONにして[MOD]の設定をおこなってください。

1)ファンクションセレクトキーにより、SET-UPにカーソルを移動します。

2)[MOD] タイプ(TYPE)の設定
ENTERまたは★キーで▶をTYPE表示の右横に移動して、
使用する受信機にあわせて出力方式を設定します。
INC/+またはDEC/-キーで切りかえます。

- 出力方式 FH3 (RX-451)フルレンジモード
FH3F (RX-451)ナローレンジモード
DS2 (RX-442DS, RX-371専用)

- 初期値 FH3F

※受信機にあわせて出力方式を設定してください。出力方式があわないと受信機が動作しません。

※サークット等でDSSS方式と同時に使用する場合は出力方式を必ずFH3Fで使用してください。
FH3は電波の出力帯域が広くDSSS方式に影響をあたえる可能性があります。

※RX-442DS, RX-371を使用する場合は設定をDS2に変更してください。

3)[MOD] チャンネルCHANNEL)の設定

- ENTERキーまたは★キーで▶をCHANNEL表示の右横に移動して、INC/+、DEC/-キーでチャンネルの設定をします。

- 2CH CH1 ステアリング(ST)
CH2 スロットル(TH)

- 4CH CH1 ステアリング(ST)
CH2 スロットル(TH)
CH3 AUXまたはブレーキ(BR)等
CH4 ブレーキ(BR)

※DS2のみチャンネル設定が可能です。

4)[MOD] レスポンスマードの設定

ENTERキーまたは★キーで▶を各チャンネル表示の右横に移動して、INC/+、DEC/-キーでレスポンスマードの設定をします。

※各チャンネルごとにレスポンスマードを設定できます

- 初期値 NOR

注)バインド後にTYPE、レスポンスマードを変更しても再バインドするまで設定の変更は反映されませんのでご注意ください。
変更した場合には必ずバインドしてください。

M01:	SET-UP	SIGNAL	E-ASGN	USER	F3
	F-SAFE	VR-ADJ	C-MENU	BATT	

M01:	SET-UP	SIGNAL	E-ASGN	USER	F3
	F-SAFE	VR-ADJ	C-MENU	BATT	
SYSTEM [MOD] BIND					
TYPE ▶ FH3F					
CHANNEL 4 ST NOR 3CH NOR					
TH NOR 4CH NOR					
>ITEM SELECT NEXT=ENTER / BACK=▲					

M01:	SET-UP	SIGNAL	E-ASGN	USER	F3
	F-SAFE	VR-ADJ	C-MENU	BATT	
SYSTEM [MOD] BIND					
TYPE DS2					

M01:	SET-UP	SIGNAL	E-ASGN	USER	F3
	F-SAFE	VR-ADJ	C-MENU	BATT	
SYSTEM [MOD] BIND					
CHANNEL ▶ 4					

M01:	SET-UP	SIGNAL	E-ASGN	USER	F3
	F-SAFE	VR-ADJ	C-MENU	BATT	
SYSTEM [MOD] BIND					
TYPE FH3F					
CHANNEL 4 ST ▶ SHR 3CH ▶ NOR					
TH ▶ SHR 4CH ▶ NOR					
>ITEM SELECT NEXT=ENTER / BACK=▲					



- 送信機のパワースイッチがONの状態では、[MOD]の設定はおこなえません。
送信機のパワースイッチがOFFの状態で、ディスプレイスイッチをONにして[MOD]の設定をおこなってください。



- SHRモードではアナログサーボは動作しませんのでご注意ください。
誤ってSHRモードでアナログサーボを使用すると、正常に動作せずサーボが壊れますので、絶対にSHRモードでアナログサーボを使用しないでください。
アナログサーボを使用する場合は必ずNORモードに設定してください。
デジタルサーボの場合はNOR, SHRモードのどちらでも動作します。
- SHRモードではBL-RACER, BL-FORCE, F2000, F2200, F3000, F3300, SBL-01は動作しません。必ずNORモードでご使用ください。

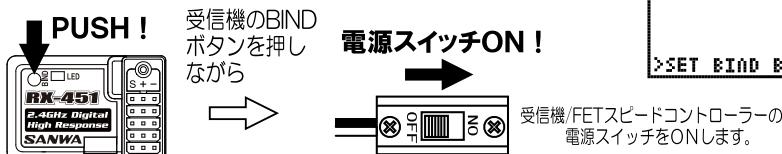
[BIND]

●BIND(バインド)とは：M11X送信機はそれぞれ固有のID(固体識別)番号をもっており、そのID番号を受信機に記憶させること(BIND/バインド)です。バインドした送信機と受信機のセットでしか動作しないようになります。

1)[BIND] バインドの設定

送信機の電源スイッチがONになっていることを確認します。
次にファンクションセレクトキーにより、BINDにカーソルを移動します。

2)受信機のBINDボタンを押しながら、受信機側の電源スイッチをONします。



注) 上記の受信機には配線が接続されていませんが、
BINDする際には、サーボやFETスピード
コントローラー(モーターは除く)、バッテリー
等を接続した状態でおこなってください。

3)受信機のLEDがゆっくりとした点滅になるのを確認したら 受信機のBINDボタンを離してください。

※受信機のLEDがゆっくりとした点滅になる前にBINDボタンを離した場合に、BINDモードに入らない場合があります。
再度2)の作業からやりなおしてください。

4)受信機のLEDが点滅しているときに送信機の★ボタンを 押してください。

※受信機がバインド待機の状態を維持するのは約10秒間です。
バインドが終了する前に受信機のLEDが消灯した場合は
再度2)の作業からやりなおしてください。

5)続いてENTERボタンを押してください。 ENTERボタンを押すとBINDモードになり、送信機から 受信機にデータが送られます。

6)受信機のLEDが高速点滅のあと点灯しますので、サーボ等を 動作させてバインドが終了したことを確認してください。 ※LEDが点灯しない場合は2)の作業からやりなおしてください。

受信機LEDの状態(高速点滅) · · · · · 点 灯



！ 注意

- 出荷時にはBINDされていません。
ご使用になる前に必ずBINDをおこなってください。
- 新たに受信機を購入された場合は、必ず送信機と
新しい受信機でBINDをおこなってください。
- 必ずBINDした送信機と受信機のセットでお使いください。
- RX-442DS, RX-371をBINDする場合は送信機のTYPE
(送信方式)をDS2に切り替えます。BINDの設定はRX-451
と同じ手順でおこなえます。
- [BIND]は必ず送信機のパワースイッチをONにした状態で
おこなってください。



受信機LEDの状態(約0.5秒間隔の点滅)



各機能の使用方法

シグナル

SIGNL

M01:	F3
SET-UP	SIGNAL
F-SAFE	USER
VR-ADJ	C-MENU
BATT	

- それぞれのキー(トライム、スイッチ)の操作音、各種タイマーのブザー音の音階を個別に設定できます。
- ブザー音の前半、後半別々に音階を設定できます。
- 音階は10種類で前半、後半の組み合わせで計100種類のブザー音のパターンがつくれます。

1)ファンクションセレクトキーにより、SIGNLにカーソルを移動します。

2)コマンドシグナル(COMMAND)の設定

ENTERキーまたは★キーで▶をCOMMAND表示の右横に移動して、INC/+またはDEC/-キーで前半の音階を設定します。

次に、ENTERキーで▶を移動し、INC/+またはDEC/-キーで後半の音階を設定します。

●設定範囲 S01～S10、MUTE(無音)

●初期値 前半：S10、後半：S10

※コマンドシグナルは、キー操作のブザー音に適用します。

M01:	F3
SET-UP	SIGNAL
F-SAFE	USER
VR-ADJ	C-MENU
BATT	

SIGNAL	COMMAND	S10	S10
PRE-ALM	DOWN	S10	S05
S10	S10	S05	S05
INT-T1	INT-T2	S10	S08
S10	S10	S08	S08
>ITEM SELECT NEXT=ENTER / BACK=<			

3)プリアラーム(PRE-ALM)の設定

ENTERキーまたは★キーで▶をPRE-ALM表示の下に移動して、INC/+またはDEC/-キーで前半の音階を設定します。

次に、ENTERキーで▶を移動し、INC/+またはDEC/-キーで後半の音階を設定します。

●設定範囲 S01～S10、MUTE(無音)

●初期値 前半：S10、後半：S10

※プリアラームは、ラップタイマーで使用するブザー音です。

M01:	F3
SET-UP	SIGNAL
F-SAFE	USER
VR-ADJ	C-MENU
BATT	

SIGNAL	COMMAND	S10	S10
PRE-ALM	DOWN	S10	S05
►S10	►S10	S05	S05
INT-T1	INT-T2	S10	S08
S10	S10	S08	S08
>ITEM SELECT NEXT=ENTER / BACK=<			

4)ダウンアラーム(DOWN)の設定

ENTERキーまたは、★キーで▶をDOWN表示の下に移動して、INC/+またはDEC/-キーで前半の音階を設定します。

次に、ENTERキーで▶を移動し、INC/+またはDEC/-キーで後半の音階を設定します。

●設定範囲 S01～S10、MUTE(無音)

●初期値 前半：S05、後半：S05

※ダウンアラームは、ダウンタイマーで使用するブザー音です。

M01:	F3
SET-UP	SIGNAL
F-SAFE	USER
VR-ADJ	C-MENU
BATT	

SIGNAL	COMMAND	S10	S10
PRE-ALM	DOWN	S10	►S05
S10	►S10	►S05	►S05
INT-T1	INT-T2	S10	S08
S10	S10	S08	S08
>ITEM SELECT NEXT=ENTER / BACK=<			

5) INT-T1の設定

ENTERキーまたは★キーで▶をINT-T1の下に移動して、INC/+またはDEC/-キーで前半の音階を設定します。次に、ENTERキーで▶を移動し、INC/+またはDEC/-キーで後半の音階を設定します。

- 設定範囲 S01～S10, MUTE(無音)

- 初期値 前半：S10、後半：S10

※INT-T1は、インターバルタイマーT1のブザー音です。

M01:				F3
SET-UP	SIGNAL	R-ASGN	USER	
F-SAFE	VR-ADJ	C-MENU	BATT	
SIGNAL	COMMAND	S10	S10	
PRE-ALM		DOWN		
S10	S10	S05	S05	
INT-T1		INT-T2		
►S10	►S10	S08	S08	
>ITEM SELECT NEXT=ENTER / BACK=▲				

6) INT-T2の設定

ENTERキーまたは★キーで▶をINT-T2の下に移動して、INC/+またはDEC/-キーで前半の音階を設定します。次に、ENTERキーで▶を移動し、INC/+またはDEC/-キーで後半の音階を設定します。

- 設定範囲 S01～S10, MUTE(無音)

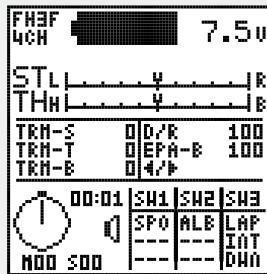
- 初期値 前半：S10、後半：S10

※INT-T2は、インターバルタイマーT2のブザー音です。

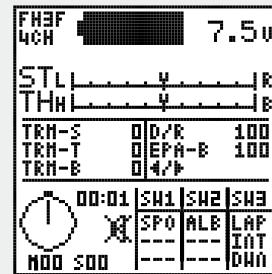
M01:				F3
SET-UP	SIGNAL	R-ASGN	USER	
F-SAFE	VR-ADJ	C-MENU	BATT	
SIGNAL	COMMAND	S10	S10	
PRE-ALM		DOWN		
S10	S10	S05	S05	
INT-T1		INT-T2		
S10	S10	►S08	►S08	
>ITEM SELECT NEXT=ENTER / BACK=▲				

重要

- ブザー音が重なった場合、1つのブザー音になります。長いブザー音は、消されることがあります。
- ブザー音を出したくない場合は前半、後半の両方をMUTEにしてください。片方だけですと、半音になります。
- 常時表示画面のブザー表示 は、コマンド(COMMAND)設定を両方MUTEに設定すると 表示となります。



MUTE設定後
→



各機能の使用方法

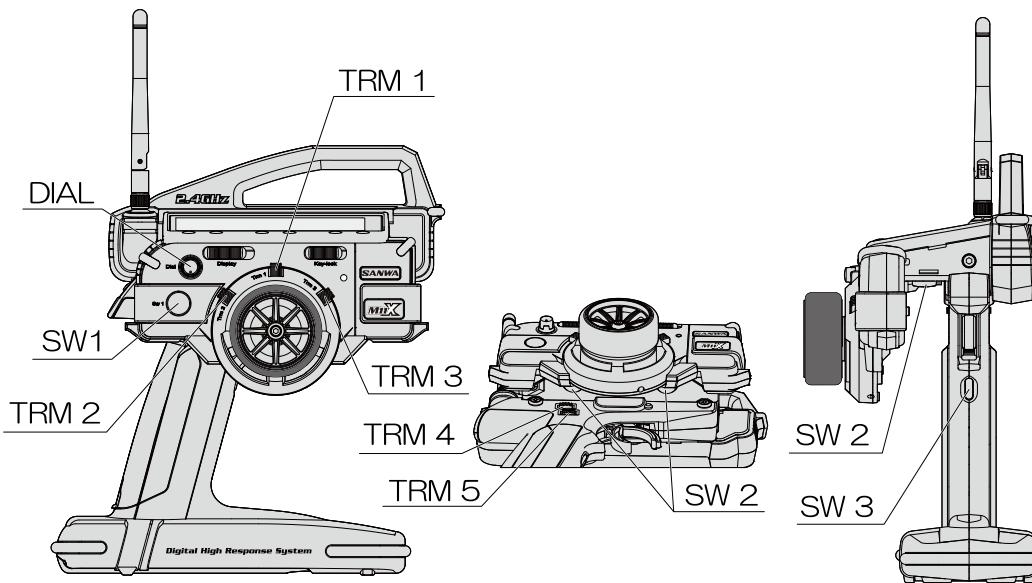
キーアサイン

E-ASGN

M01:	F3
SET-UP	SIGNAL
E-ASGN	USER
F-SAFE	VR-ADJ
VR-ADJ	C-MENU
C-MENU	BATT

- 送信機のスイッチ(SW 1～SW 3)、トリム(TRM 1～TRM 5)、DIALに機能及びトリム(機能の設定値の増減)を割り当てることができます、走行中に簡単に機能のON/OFF、設定値の変更ができます。

スイッチ及びトリムの位置



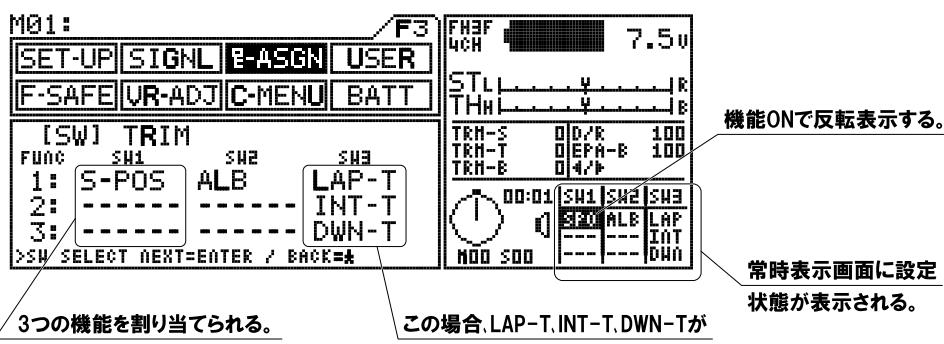
※工場出荷時スイッチ(SW 1～SW 3)、トリム(TRM 1～TRM 5)、DIALに割り当てられている機能

TRM 1: ステアリングトリム (TRM-S)
 TRM 2: スロットルトリム (TRM-T)
 TRM 3: ブレーキトリム (TRM-B)
 TRM 4: デュアルレート (D/R)
 TRM 5: エンドポイントアジャスト ブレーキ (EPA-B)

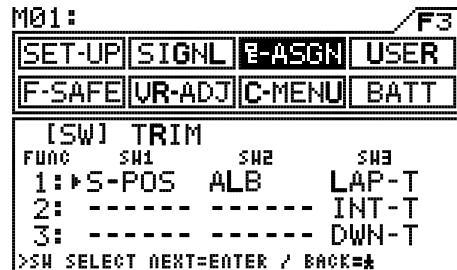
SW 1: スターティングポジション (S-POS)
 SW 2: アンチロックブレーキ (ALB)
 SW 3: タイマー (LAP-T/INT-T/DWN-T)
 DIAL : ▲ ▼ (カーソル移動)

[SW] キーアサインスイッチ

- 各機能のON/OFFをSW 1～SW 3に割り当てて、走行中に機能のON/OFFを操作することができます。
- 1個のSWに3種類の機能(FUNC 1～3)を割り当てることができ、同時に切りかえることができます。



- 1)ファンクションセレクトキーにより、E-ASGN[SW]にカーソルを移動します。



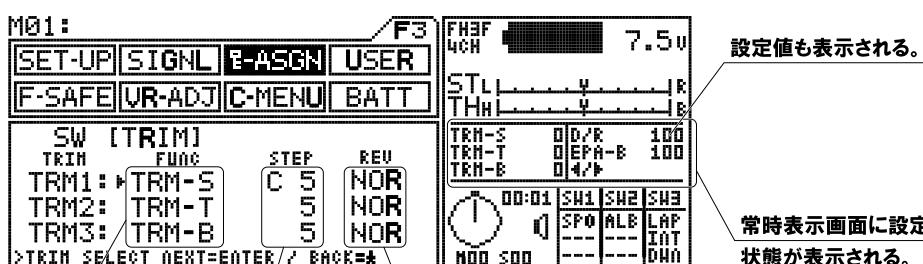
- 2)★または、ENTERキーで▶を設定するSWに移動して、INC/+またはDEC/-キーで機能を選択します。

●選択できる機能

機能	メニュー画面	常時表示画面	工場出荷時
ステアリング・エクスプロンシャル	EXP-ST	EXS	
スロットル・エクスプロンシャル	EXP-TH	EXT	
ステアリング・アジャスタブルレートコントロール	ARC-ST	ARS	
スロットル・アジャスタブルレートコントロール	ARC-TH	ART	
ステアリング・サーボスピード	SPD-ST	SPS	
ブレーキング・サーボスピード	SPD-BR	SPB	
アンチロックブレーキ	ALB	ALB	[SW 2]
トラクションコントロール・フォワード	TRC-F	TRF	
トラクションコントロール・リターン	TRC-R	TRR	
ラップタイマー	LAP-T	LAP	[SW 3]
インターバルタイマー	INT-T	INT	[SW 3]
ダウンタイマー	DWN-T	DWN	[SW 3]
スタートイングポジション	S-POS	SPO	[SW 1]
スタートイングポジション・ブレーキロック	BR-LCK	BRL	
スロットルホールド	TH-HLD	HLD	
コンペニセーションミキシング 1	C-MIX1	CX1	
コンペニセーションミキシング 2	C-MIX2	CX2	
ファンクション・リプレイスメント	◀▶ / + -	◀/+	

[TRIM] キーアサントリム

- 各機能の設定値をTRM 1～TRM 5、DIALで変更できます。
- STEPを設定でき、1回のキー操作での変化幅を変更できます。
- 6ヶ所(TRM 5ヶ所、DIAL)に割り当てられることができ、操作しやすい位置に変更できます。
- キーアサントリムで設定した機能は、その設定値を常時表示画面に表示することで、どのメニューからでも確認できます。



機能の設定

動作方向の設定

ステップ(変化幅の設定)

センタートリムとパラレルトリムの設定(TRM-Sのみ)

各機能の使用方法

キーアサイン

E-ASGN

M01:	F3
SET-UP	SIGNAL
E-ASGN	USER

[TRIM] キーアサイントリム

1) ファンクションセレクトキーにより、E-ASGN [TRIM] にカーソルを移動します。

2) 機能の選択

ENTERキーまたは★キーで ▶ を設定する[TRIM] の FUNC に移動して、INC/+ または DEC/- キーで機能を選択します。

3) ステップの設定

ENTERキーまたは★キーで ▶ を設定する[TRIM] の STEP に移動して、INC/+ または DEC/- キーでステップを設定します。

- ・ TRM-S のみステップでセンタートリムと平行トリムの設定をします。

※ステップとは、1クリックで動作する量のことです。

4) REV の設定

ENTERキーまたは★キーで ▶ を設定する[TRIM] の REV に移動して、INC/+ または DEC/- キーで REV を設定します。

※REV でトリムレバーの操作方向とトリムの動作方向を設定します。

● 選択できる機能およびステップの範囲

機能	メニュー画面	ステップ	REV	工場出荷時
ステアリング・トリム（センタートリム[C]とパラレルトリム[P]の選択ができます。）	TRM-S	C/P 1~10	NOR	[TRM 1]
スロットル・トリム	TRM-T	1~10	NOR	[TRM 2]
ブレーキ・トリム (4CH時)	TRM-B	1~10	NOR	[TRM 3]
デュアルレート	D/R	1~10	NOR	[TRM 4]
ステアリング・エンドポイントアジャスト	EPA-S	1~10	NOR	
ブレーキ・エンドポイントアジャスト	EPA-B	1~10	NOR	[TRM 5]
ファンクションセレクト	◀/▶	1~10	NOR	[DIAL]
ステアリング・エクスボネンシャル	EX-S	1~10	NOR	
スロットル・エクスボネンシャル ハイ	EX-H	1~10	NOR	
スロットル・エクスボネンシャル ブレーキ	EX-B	1~10	NOR	
アジャスタブルレーティングロール・ステアリング レート	AR-S-R	1~10	NOR	
アジャスタブルレーティングロール・ステアリング ポイント	AR-S-P	1~10	NOR	
アジャスタブルレーティングロール・スロットル ハイ レート	AR-H-R	1~10	NOR	
アジャスタブルレーティングロール・スロットル ブレーキ レート	AR-B-R	1~10	NOR	
アジャスタブルレーティングロール・スロットル ハイ ポイント	AR-H-P	1~10	NOR	
アジャスタブルレーティングロール・スロットル ブレーキ ポイント	AR-B-P	1~10	NOR	
ステアリング・サーボスピード フォワード	SP-S-F	1~10	NOR	
ステアリング・サーボスピード リターン	SP-S-R	1~10	NOR	
ステアリング・サーボスピード ポイント	SP-S-P	1~10	NOR	
ブレーキング・サーボスピード フォワード	SP-B-F	1~10	NOR	
ブレーキング・サーボスピード リターン	SP-B-R	1~10	NOR	
ブレーキング・サーボスピード ポイント	SP-B-P	1~10	NOR	
アンチロックブレーキ・ポイント	ALB-PT	1~10	NOR	
アンチロックブレーキ・リターン	ALB-ST	1~10	NOR	
アンチロックブレーキ・ストローク	ALB-LG	1~10	NOR	
アンチロックブレーキ・スピード	ALB-SP	1~10	NOR	
トラクションコントロール・フォワード トラクション	TR-T-F	1~10	NOR	
トラクションコントロール・リターン トラクション	TR-T-R	1~10	NOR	
トラクションコントロール・ディレイ	TR-D-F	1~10	NOR	
トラクションコントロール・リターン ディレイ	TR-D-R	1~10	NOR	
トラクションコントロール・フォワード ポイント	TR-P-F	1~10	NOR	
トラクションコントロール・リターン ポイント	TR-P-R	1~10	NOR	
スターティングポジション	S-POS	1~10	NOR	
スロットルホールド	TH-HLD	1~10	NOR	
ブレーキミキシング 2CH ディレイ	BM-2CH	1~10	NOR	
ブレーキミキシング 3CH ディレイ	BM-3CH	1~10	NOR	
ブレーキミキシング 4CH ディレイ	BM-3CH	1~10	NOR	
コンベンセーションミキシング1 オフセット	CX1-OF	1~10	NOR	
コンベンセーションミキシング1 ハイ	CX1-Hi	1~10	NOR	
コンベンセーションミキシング1 ロー	CX1-Lo	1~10	NOR	
コンベンセーションミキシング2 オフセット	CX2-OF	1~10	NOR	
コンベンセーションミキシング2 ハイ	CX2-Hi	1~10	NOR	
コンベンセーションミキシング2 ロー	CX2-Lo	1~10	NOR	
3CH (AUX)	3CH	1~10, 20, 50, 100, 200	NOR	

M01:	F3
SET-UP	SIGNAL
E-ASGN	USER

SW [TRIM]	FUNC	STEP	REV
TRIM1:	TRM-S	C 5	NOR
TRM2:	TRM-T	5	NOR
TRM3:	TRM-B	5	NOR
>TRIM SELECT NEXT=ENTER / BACK=*			

M01:	F3
SET-UP	SIGNAL
E-ASGN	USER

SW [TRIM]	FUNC	STEP	REV
TRM4:	D/R	1	NOR
TRM5:	EPA-B	1	NOR
DIAL:	◀/▶	1	NOR
>TRIM SELECT NEXT=ENTER / BACK=*			

ユーザー名

USER

M01:	F3
SET-UP	SIGNAL
F-SAFE	VR-ADJ

E-ASGN USER

BATT

- 送信機のユーザー名を登録できます。
- アルファベット、数字、カナ、記号を12文字まで登録できます。

1)ファンクションセレクトキーにより、USERにカーソルを移動します。



2)★または、ENTERキーでカーソル“_”を入力したい位置に移動します。



3)INC/+、またはDEC/-キーで文字を選択します。

●設定範囲 A~Z, a~z, 0~9,
0~9, ア~ン, シ~ン、
ア~ツ、記号、スペース

4) 2), 3)を繰り返して入力します。



補足

- INC/+とDEC/-の同時押しで、A→a→0→o→ア→ア→!→スペース→A・・・とグループの頭出しができます。
- スペースのところに文字を入力する場合、DEC/-キーを押すと、前文字のグループの先頭から選択できるようになります。同じグループの文字を入れる場合に便利です。
- BATTメニューで、ENTERキーにより、M11ロゴ表示とユーザー名と入れかえできます。



各機能の使用方法

フェールセーフ

F-SAFE

M01:	F3
SET-UP	SIGNAL
F-SAFE	USER
VR-ADJ	C-MENU
BATT	

[FAIL SAFE] フェールセーフ

- フェールセーフとは、受信機が送信機からの電波を受信できないような状況になった場合に、各チャンネルのサーボをあらかじめ設定した位置にサーボを保持させる機能です。
- RX-442DS, RX-371を使用する場合には、フェールセーフの設定を送信機からおこなえません。RX-442DS, RX-371は受信機にスロットルのフェールセーフ位置をおぼえさせる方式です。

- 1) ファンクションセレクトキーにより、F-SAFEにカーソルを移動します。
- 2) ENTERキーで、▶ をフェールセーフを設定するチャンネル(CH)にカーソルを移動します。
- 3) 選択したチャンネル(CH)でINC/+キーを押すと、フェールセーフのモード設定がFREE→HOLD→FS→FREE・・・の順で切りかわります。DEC/-キーを押すと、フェールセーフの設定がFREE→FS→HOLD→FREE・・・の順で切りかわります。

○ 設定範囲 FREE/HOLD/FS
○ 初期設定 FREE

※各モードについて

FREE (フリー モード)・・・受信機が送信機からの電波を受信できなくなると、サーボへの信号出力を停止して
サーボはフリーの状態になります。

HOLD (ホールド モード)・・・受信機が送信機からの電波を受信できなくなる直前の位置を保持します。

FS (フェールセーフ モード)・・・受信機が送信機からの電波を受信できなくなると、設定した位置にサーボを保持します。

・FREE, HOLD, FSの各モードは、送信機からの信号を再び受信できるようになった場合は、自動的に解除します。

- 4) フェールセーフの設定

フェールセーフモードで動作させる位置をバーグラフで確認して、位置が決定したらINC/+とDEC/-キーを同時に押して、フェールセーフが動いたときの位置を設定します。

※安全面からフェールセーフの設定はスロットルチャンネルをブレーキ側に設定することをおすすめします。

- 5) フェールセーフの確認

フェールセーフの設定がされている状態で、★キーを押します。次にENTERキーを押すと、送信機からの電波がストップして、フェールセーフ確認モードに入ります。

※再度ENTERキーを押すまでフェールセーフ確認モードを維持します。

M01:	F3
SET-UP	SIGNAL
F-SAFE	USER
VR-ADJ	C-MENU
BATT	

[FAIL SAFE]

ST :FREE L |————| R
TH :FS-100 H |————| B
3CH:FREE H |————| L
4CH:FREE H |————| B

>CH SELECT=ENTER / F/S CHECK SET=*

M01:	F3
SET-UP	SIGNAL
F-SAFE	USER
VR-ADJ	C-MENU
BATT	

[FAIL SAFE] B-FAIL SAFE

ST :FREE L |————| R
TH :FS-100 H |————| B
3CH:FREE H |————| L
4CH:FREE H |————| B

>CH SELECT=ENTER / F/S CHECK SET=*

M01:	F3
SET-UP	SIGNAL
F-SAFE	USER
VR-ADJ	C-MENU
BATT	

[FAIL SAFE] B-FAIL SAFE

ST :FREE L |————| R
TH :FS-100 H |————| B
3CH:FREE H |————| L
4CH:FREE H |————| B

>START F/S CHECK=ENTER / RETURN=*

M01:	F3
SET-UP	SIGNAL
F-SAFE	USER
VR-ADJ	C-MENU
BATT	

[FAIL SAFE] B-FAIL SAFE

ST :FREE L |————| R
TH :FS-100 H |————| B
3CH:FREE H |————| L
4CH:FREE H |————| B

>ENTER=ENTER

[B-FAIL SAFE] バッテリーフェールセーフ

- バッテリーフェールセーフとは、受信機側のバッテリー電圧が設定電圧以下になった場合にスロットルチャンネルをフェールセーフで設定した位置に保持します。
- 受信機側のバッテリー電圧が復帰したら機能は解除されますが、バッテリーフェールセーフが働いたことを示す赤LEDが点灯します。(受信機側)受信機側の電源OFFでリセットされます。
- ※スロットル(TH)をFS(フェールセーフモード)に設定しないと使用できませんので、ご注意ください。
- ※RX-442DS、RX-371を使用する場合はバッテリーフェールセーフの機能は使用できません。

- 1)ファンクションセレクトキーにより、F-SAFE [B-FAIL SAFE]にカーソルを移動します。



- 2)B-FAIL SAFEのINH/ACT

有効にする場合はACTに、無効にする場合はINHにします。
B-F/Sの下に▶があることを確認して、INC/+またはDEC/-キーでINH/ACTを設定します。

- 3)B-FAIL SAFEの電圧設定

ENTERキーで▶を電圧設定の右横に移動して、INC/+、DEC/-キーで電圧設定します。

○設定範囲 3.5V~5.0V
○初期値 3.8V



重要

- フェールセーフについて
フェールセーフ機能をACTにした場合は走行前にフェールセーフの設定を確認してください。
走行中にフェールセーフの設定を変更しないでください。
- バッテリーフェールセーフについて
電動RCカーは受信機の電源をFETスピードコントローラーから供給されますが、走行用モーターのON/OFFによって、受信機への供給電圧が瞬間に低下し、バッテリーフェールセーフが働く場合があります。電動RCカーではバッテリーフェールセーフ機能を使用しないでください。

各機能の使用方法

ボリュームアジャスト

VR-ADJ

●ステアリングとスロットルのニュートラル位置および、動作角度の補正をかけることができます。

ステアリングホイールの舵角調整機能を使用した場合は必ずボリュームアジャストをおこなってください。

※EPAの設定をおこなったあとにボリュームアジャストをおこなった場合は、すべてのモデルメモリーのEPAの設定を確認してください。

1)ファンクションセレクトキーにより、VR-ADJにカーソルを移動します。

2)ENTERキーを押します。

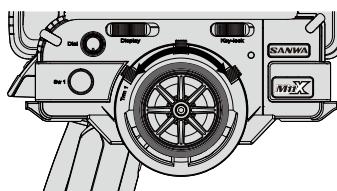
ディスプレイ上でYES/NOを確認してきますので、VR-ADJをおこなう場合は、YESのINC/+キーを押してください。

VR-ADJをおこなわない場合は、NOのDEC/-キーを押してください。

3)ステアリングのVR-ADJ調整

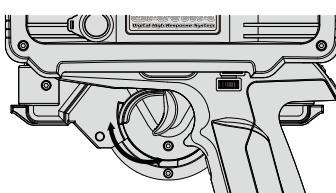
ステアリングホイールを左右に軽く弾いたあと、

ステアリングホイールを左側、右側いっぱいに軽く操作します。



4)スロットルのVR-ADJ調整

スロットルトリガーを前後方向に軽く弾いたあとに前進側、フルブレーキ側いっぱいに軽く操作します。



5)ステアリング、スロットルの操作が終了してVR-ADJの設定が終したら、ENTERキーを押します。

6)INC/+キーを押してVR-ADJは終了です。

M01:	F3
SET-UP	SIGNAL
F-SAFE	VR-ADJ
C-MENU	BATT

M01:	F3
SET-UP	SIGNAL
F-SAFE	VR-ADJ
C-MENU	BATT
VR ADJUSTMENT	
ST L	R
TH H	B
>VR ADJ=ENTER / SX-MONITOR=A*	

M01:	F3
SET-UP	SIGNAL
F-SAFE	VR-ADJ
C-MENU	BATT
VR ADJUSTMENT	
VR ADJUSTMENT?	
YES=<INC> NO=<DEC>	

M01:	F3
SET-UP	SIGNAL
F-SAFE	VR-ADJ
C-MENU	BATT
VR ADJUSTMENT	
ST L	R
TH H	B
>VR OK=ENTER / SX-MONITOR=A*	

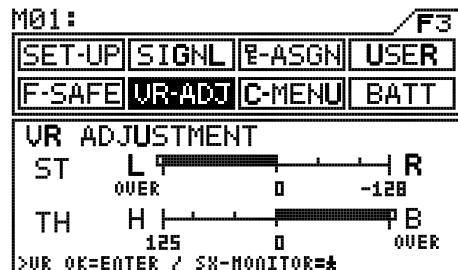
M01:	F3
SET-UP	SIGNAL
F-SAFE	VR-ADJ
C-MENU	BATT
VR ADJUSTMENT	
ST L	R
128	0
-128	
TH H	B
125	0
-50	
>VR OK=ENTER / SX-MONITOR=A*	

M01:	F3
SET-UP	SIGNAL
F-SAFE	VR-ADJ
C-MENU	BATT
VR ADJUSTMENT	
ADJUSTMENT EXECUTE?	
YES=<INC> NO=<DEC>	

- VR-ADJしてからバーグラフが端まで届いているか確認してください。

操作してバーグラフが端まで届いていない場合は、端まで操作したときに動かない領域が発生しています。

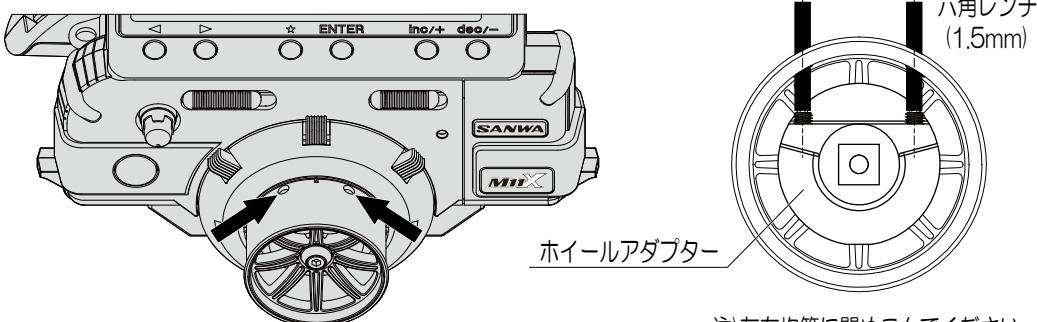
- 舵角調整しているときに、端まで操作せずにVR-ADJした場合は、端まで操作したときにOVERと表示されます。
そのままの状態だと、操作しても正常に動作しません。
再度、VR-ADJの調整をやりなおしてください。



- ステアリングホイール、スロットルトリガーをニュートラル位置に戻したときに、ニュートラル表示が「0」になっているか確認してください。
操作してニュートラルに戻して「0」にならない場合は、操作時にニュートラルの位置に戻っていない可能性があります。
VR-ADJをおこなっても治らない場合はお近くのサンワサービスにお送りください。

*ステアリングホイール舵角調整について

ステアリングホイールからワイドステアリングパッドをはずしてください。
ステアリングホイールの穴(2箇所)に六角レンチドライバー(1.5mm)を差し込んで、六角穴付ホールーセットビスを調整します。



注)左右均等に閉めこんでください。

- 舵角調整が終わったら、ワイドステアリングパッドをステアリングホイールに取り付けます。

*ステアリングホイール舵角調整をおこなった場合は必ず、VR-ADJをおこなってください。

補足

- VR-ADJをおこなっても正常な動作に戻らないときは、お近くのサンワサービスにお送り下さい。
- ステアリングホイールの舵角を狭くしそぎるとVR-ADJをおこなっても正常に動作しない可能性がありますので、六角穴付ホールーセットビスを締め込みすぎないように注意してください。
- ステアリングホイールの舵角を初期状態に戻すには、六角穴付ホールーセットビスをホイールアダプターの穴からビス先端が出ない状態にしてください。
初期状態に戻したときも、VR-ADJをおこなってください。

各機能の使用方法

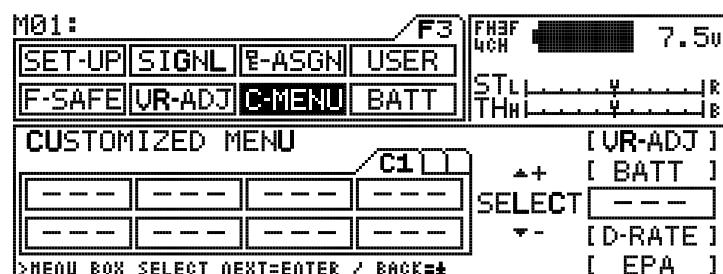
カスタマイズメニュー

C-MENU

M01:	F3
SET-UP	SIGNAL
F-SAFE	VR-ADJ
C-MENU	BATT

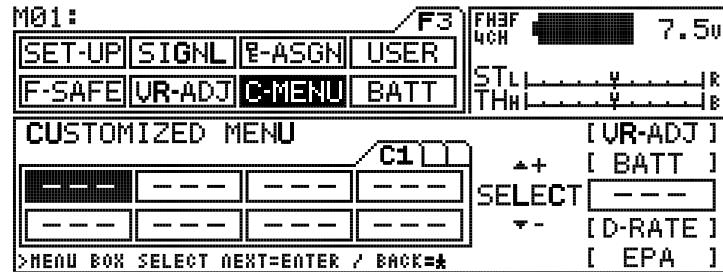
- カスタマイズメニューを設定することによって、好みのメニュー画面を作成することができます。
- カスタマイズメニュー設定後はファンクションセレクトキー(◀、▶)の左右同時長押しによって、ノーマルメニューとカスタマイズメニューの切り替えを簡単におこなうことができます。

1) ファンクションセレクトキーにより、C-MENUにカーソルを移動します。

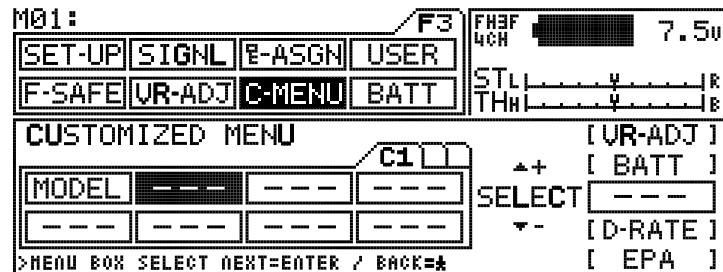


2) ENTERキーでメニュー ボックスを選択します。

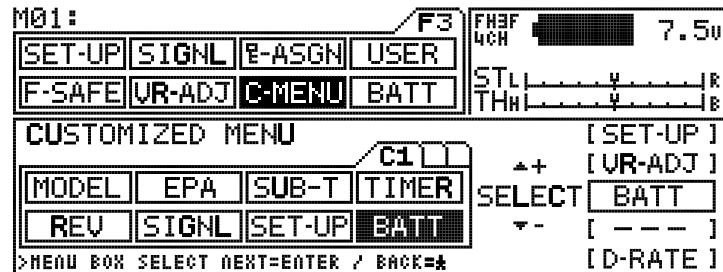
3) INC/+、DEC/-キーでメニュー ボックスに入れるメニューを選択します。



4) メニューを選択したら、ENTERキーを押して、メニュー ボックスを進めます。メニュー ボックスを戻す場合は★キーを押します。



5) カスタマイズメニューの設定が完了したら、ファンクションセレクトキー(◀、▶)の左右同時長押しでノーマルメニュー⇒カスタマイズメニューの切り替えをおこなえます。



補足

- カスタマイズメニューが設定されていれば、ファンクションセレクトキー(◀、▶)の同時長押しでノーマルメニュー⇒カスタマイズメニューの切り替えをおこなえます。
- ※カスタマイズメニューが設定されていない状態でファンクションセレクトキー(◀、▶)を同時に押ししてもカスタマイズメニューには切りかわりませんのでご注意ください。

ダイレクトサーボコントロール

DSC

●M11X送信機とRX-451受信機を付属のDSCハーネスで接続すると、電波を出さずにサーボ等を動作することができます。
レース中などにリンクージ調整をするときに使用します。(ダイレクトサーボコントロール:DSC)

※送信機のDSCジャックにDSCハーネスが接続された状態で送信機のパワースイッチをONにしても電波は出ません。

※RX-442DS、RX-371には受信機にDSCの機能がありませんので対応しておりません。

1)送信機と受信機の電源がOFFの状態で付属のDSCハーネスを送信機の裏側にあるDSCジャックと受信機に接続してください。

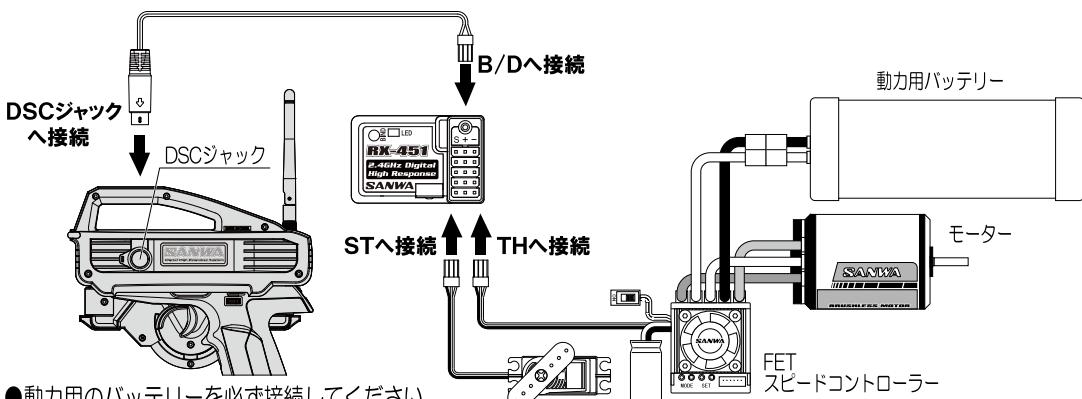
2)送信機のディスプレイスイッチをONにして、次に受信機側の電源スイッチをONします。

※サーボが動かない時は、再度受信機側のスイッチを入れなおしてください。

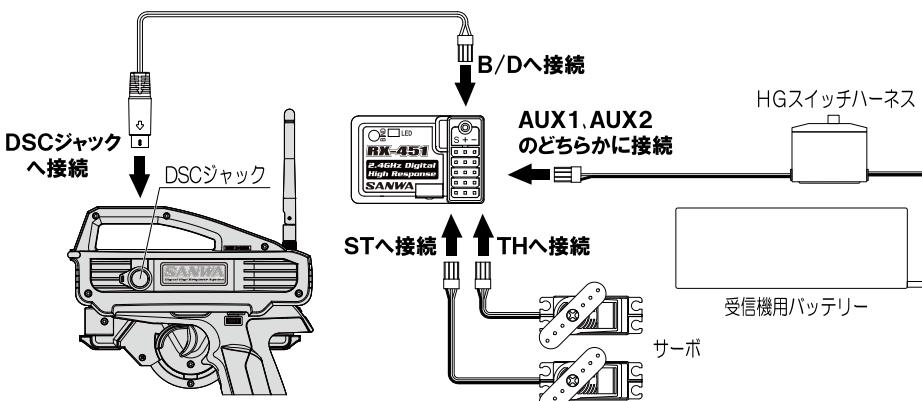
3)動作確認が終了したら、受信機側→送信機の順番で電源をOFFにします。

電源をOFFにしたあとで、DSCハーネスを送信機、受信機からはずしてください。

FETスピードコントローラーを使用する場合



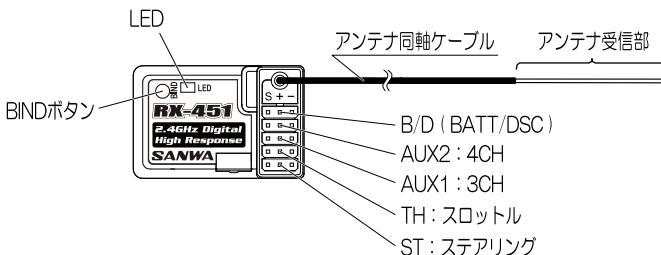
エンジンカーで使用する場合



- DSCを使用するときは、送信機のパワースイッチは入れないでください。
必ずディスプレイスイッチをONにして調整してください。
- DSCを使用するときは、RCカーの動力用/受信機用バッテリーを接続してください。
- 4CHすべてのサーボをDSCで動作させる場合は、オプションの2双リードハーネスまたは、ショートYハーネスが必要になります。
- DSCを使用後は、必ずDSCハーネスを外してください。
- 付属のDSCハーネスはM11X専用です。M11X以外には使用できませんので、ご注意ください。

受信機の接続と搭載について

受信機各部の名称

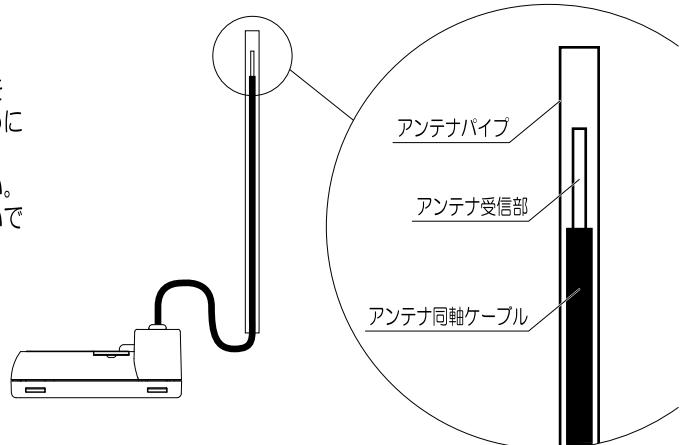


受信機LEDの状態

電波を受信している状態	青点灯
電波を受信できない状態	—
BIND(バインド)設定中	青点滅、 青高速点滅
バッテリーフェールセーフ作動	青&赤点灯
バッテリーフェールセーフ作動後 に電波を受信できない状態	赤点灯

アンテナの取扱いについて

- 受信機とアンテナが搭載される場所により、受信距離が異なります。
- 右図のようにアンテナ受信部(先端から約3cm)を保護するために、必ずアンテナパイプにアンテナを入れて、先端がアンテナパイプの外部に出ないようにしてください。
- アンテナ受信部は絶対に、折り曲げないでください。また、アンテナ同軸ケーブルを無理に折り曲げないでください。
- 同軸ケーブルを無理に引っ張らないでください。受信機内部の破損の原因となります。



注意

- RCカーに搭載したときに、アンテナ受信部はなるべく高い位置になるように設置してください。
- アンテナ受信部、アンテナ同軸ケーブルは切断したり束ねたりしないでください。
- 受信機のアンテナはモーター、FETスピードコントローラー(配線も含む)から離して、垂直に立ててください。
- 走行中の振動でコネクターが抜けると、暴走の危険があります。受信機、サーボ、スイッチ等のコネクターは確実に接続してください。
- 受信機は振動、衝撃、水に弱いので、防振/防水対策を確実におこなってください。対策を怠ると、暴走の危険があります。
- 受信機の取り付けはカーボンシャシー、金属シャシーから離して取り付けてください。
- RCカーに搭載している金属パーツ同士が接触すると、ノイズが発生し受信機性能に悪影響をおよぼし、暴走の危険があります。
- 電動RCカーのモーターには必ずノイズキラーコンデンサーを取り付けてください。ノイズキラーコンデンサーを取り付けていないと、ノイズが発生し暴走の危険があります。
- サーボには必ず付属のアブソーバーゴムを使用してください。振動がサーボに直接伝わり、サーボトラブルが発生し、暴走の危険があります。
- 送信機、受信機、サーボ、FETスピードコントローラー、送/受信機バッテリー等のプロポーパーツは、SANWA純正品をご使用ください。

※SANWA純正部品以外の組み合わせにより発生した損害などにつきましては、当社では責任を負いません。

こんなときは…

現象	原因	処理	参照ページ
電源が入らない。	バッテリーの電圧不足。	充電してください。	8
ときどき電源が切れる。	コネクター等の接触不良。	サンワサービスへ。	
アラームが鳴りやまない。	ピー、ピー、ピーと連続音が鳴る。	送信機バッテリーの電圧が低下している。	充電してください。8
	ピッピ、ピッピ、ピッピと連続音が鳴る。	S-POSの機能がONになっている。	S-POSの機能をOFFにしてください。34
	ピッピ、ピッピ、ピッピと周期的に鳴る。	インターバル・タイマーがONになっている。	インターバル・タイマーの機能を確認してください。32
キーを操作してもキー操作音が鳴らない。	シグナルの設定がOFFになっている。	シグナルの設定を確認してください。	47
キーを操作してもディスプレイの表示が変わらない。	キーロックスイッチがONになっている。	キーロックスイッチをOFFにしてください。	9
サーボのスピードが遅い。	スピード機能で設定がマイナスになっている。	スピードの設定を確認してください。	22,23
	受信機バッテリーの電圧が低下している。	受信機バッテリーを充電してください。	8
	車体側のリンクージの動作が重い、もしくは渋い。	車体側のリンクージの動作を確認してください。	—
操作しても両端でサーボが動かない。	D-RATE、EPAの設定値が大きい。	どちらかの設定値を100%以下に設定する。	14,15
トリムを操作してもサーボが動かない。	トリムの動作範囲外になっている。	サーボホーン、トリムのセンターを再設定します。	29
ラップ・タイマー、インターバル・タイマーが動かない。	タイマーの機能がOFFになっている。	タイマーの機能をONにします。	30~34

サンワサービスについて

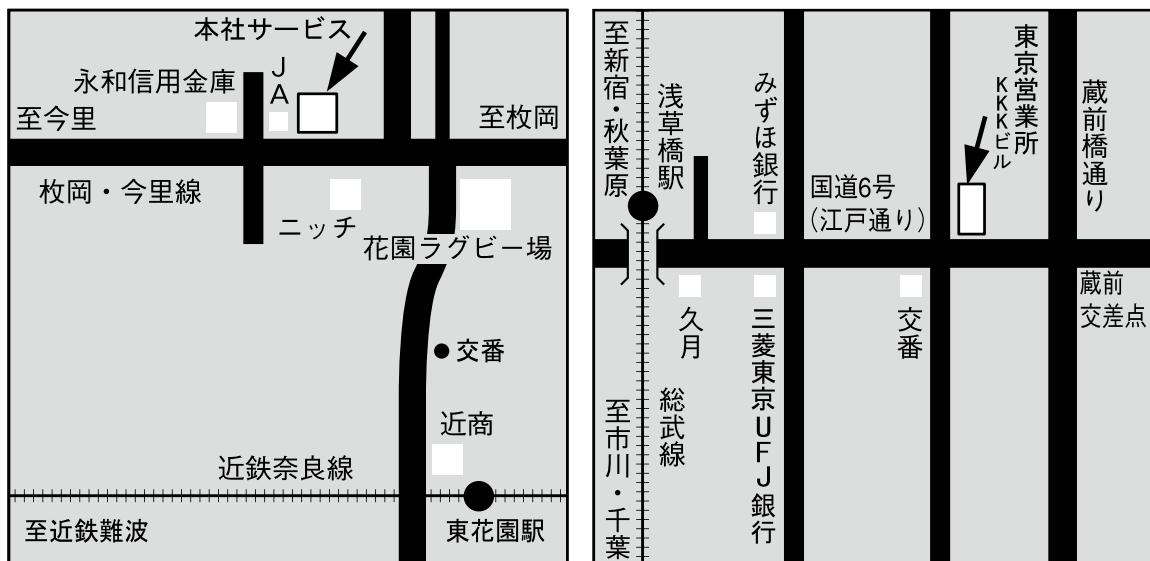
調子が悪いときはまずチェックを。この取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも異常のあるときは、トラブルの状況を詳しくご記入の上、本社サンワサービスまで修理依頼してください。

オーバーホールや点検時は点検内容を詳しくご記入ください。

また、ご質問、お問い合わせ等がありましたら、本社サービス/東京営業所にて受付けております。

電話でのお問い合わせは土曜、日曜、祝日を除くAM9:30~12:00、PM1:00~5:00です。



〈本社サービス〉

東大阪市吉田本町1丁目2-50
〒578-0982 ☎ 072(962)2180

〈東京営業所〉

東京都台東区浅草橋3丁目18-1
(KKKビル)
〒111-0053 ☎ 03(3862)8857

修理依頼カード

このカードに故障状態を詳しくご記入のうえ必ず製品といっしょに
お送りください。

〒



()

ご住所

フリガナ
お名前

修理依頼用件

1回目 年 月 日

ご意見・ご要望

- 点検、オーバーホール。
- 全く動かない。
- ノーコンになる。
- 一台走行の時
- 複数走行の時
- 水が入った。
- その他

修理依頼用件

2回目 年 月 日

ご意見・ご要望

- 点検、オーバーホール。
- 全く動かない。
- ノーコンになる。
- 一台走行の時
- 複数走行の時
- 水が入った。
- その他

キトリ線

キトリ線



SANWA プロポ保証書

製品型名

Mix

製造番号

ご愛用者住所

お名前

保証期間

お買上げ日
有効期限

年 月 日) 180日
年 月 日)

販売店名・印

当社製品を上記記載通り保証いたします。

三和電子機器株式会社

「????」と感じたら……

動きがおかしかったり「????」と感じたときは、次のことをもう一度確認してください。

- 送信機、受信機の電源スイッチは“ON”になっていますか？
- 送信機のパイロットランプは点灯していますか？
- コネクターがはずれていませんか？
- リンクエージ(セットアップ)はスムーズに動作しますか？

以上のことを行っても正常に動作しないときは、お近くのサンワサービスに保証書と修理依頼カードを添えてお送りください。

 プロポは水が一番きらいです。プロポに水が入りそうな場合は、防水対策をしてください。ビニール袋等に入れ、袋の口をゴムやテープでふさいでください。受信機やサーボの中に水が入ると中の電子部品を壊し、動作しなくなります。



キリトリ線

- 1.本保証書は保証書記入の製品型名、製造番号のみについて有効です。
- 2.正常な使用状態において、製造上の責任による故障の場合、
お買上げの日から6ヶ月(180日)以内、弊社にて無償修理いたします。
但し、車体、船体、エンジンその他の保障についてはご容赦願います。
- 3.保証期間内でも次の場合は有償修理となります。
 - 電気的、機械的に変更または手を加えられた場合。
 - 弊社でのサービス以外で修理された場合。
 - 使用上の過失、または事故により発生した故障と認められた場合。
 - 本保証書を紛失された場合、または修理の際、添付されない場合。
 - お買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合。
 - 記入事項を訂正された場合。

MEMO



三和電子機器株式会社

本社／東大阪市吉田本町1-2-50 〒578-0982 ☎072(964)2531
東京営業所／東京都台東区浅草橋3-18-1 (KKKビル) 〒111-0053 ☎03(3862) 8857

●予告なく外観または仕様の一部を変更することがあります。
●2010年1月 第3版